

伊予市第2次総合計画策定に係る 市民アンケート調査

集計結果報告書

平成26年12月

目次

1 調査概要	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象及び調査方法等.....	1
(3) 回収状況.....	1
2 集計結果のポイント	2
3 集計結果	4
あなたご自身のことについておたずねします。.....	4
伊予市の住みやすさについておたずねします。.....	7
伊予市の現在の「取り組み」についておたずねします。.....	17
伊予市の今後の「取り組み」についておたずねします。.....	31
伊予市の子育て支援策についておたずねします。.....	46

1 調査概要

(1) 調査目的

来年度からの総合計画の後期5ヶ年の市の方向性を示す「後期基本計画」(計画期間:平成27年度～31年度)の策定にあたり、今後のまちづくりの方向性や課題を検討する上での資料とする。

(2) 調査対象及び調査方法等

調査対象	18歳以上の市内居住者 2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	平成26年8月27日～9月19日

(3) 回収状況

配布数	2,000通
有効回収数	815通
有効回収率	40.75%

※本アンケートにおいて、【n=数字】は、当該設問の対象となる全票数を示す。

※四捨五入の関係より%の合計が100とならない場合がある。

2 集計結果のポイント

- ✓ 「住みやすさ」について、「どちらかといえば住みやすい」とする回答者が全体的に最も多く、40代以上は「たいへん住みやすい」とする回答者が多い。
- ✓ 「住み続けたいと思う理由」については、「自然が豊か」であることや「災害が少ない」ことを理由にする回答者が非常に多い。「住み続けたくないと思う理由」については、「交通の便が良くない」ことを理由にする回答者が多く、「買い物や外食が不便」といった交通の面と併せて、商業や娯楽等についての不満を感じていることがわかる。
- ✓ 現在の「取組み(施策・事業)」について、総じて「ふつう」と評価する回答者が最も多い。
- ✓ 各基本目標についての重要度の評価は、「やや高い」と評価する回答者が最も多い。各基本目標の中で、最も重要だと思われる取組みとして、「道路・交通基盤の整備」、「消防・防災・安全の確保」、「高齢者対策の充実」、「学校教育の充実」、「農業の振興」、「住民自治の推進」が挙げられている。
- ✓ 各施策における個別順位を見ると、「高齢者対策の充実」の回答が最も多く、次いで「学校教育の充実」、「消防・防災・安全の確保」となっている。分野別でみると、「福祉の向上と保健・医療の充実」に関する取組みの回答が最も多く、次いで「住環境の整備と生活安全の確保」、「都市基盤の整備」に関する施策の回答が多い。健康や医療といった福祉・生活面の意向が高くなることは全国的な傾向であるため、それを踏まえると教育や安心安全といった施策に注力していく必要があると考えられる。
- ✓ 今後の伊予市のまちのすがたについては、「医療や福祉の充実した健康に暮らせるまち」とする回答が最も多く、次いで、「災害・犯罪の少ない安全・安心なまち」、「子どもを生み育てやすいまち」とする回答者が多い。特に20代～40代といった子育て世代は、「子どもを産み育てやすいまち」とすべきとする回答が多く、50代以上は「災害、犯罪のない安全・安心なまち」とする回答者が多い。
- ✓ 今後取り組んでみたい活動については、「まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」とする回答者が多い。
- ✓ 「地域運営・地域振興」を進めていく上での取組みについては、「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら、協働により取り組む。」とする回答者が最も多いことから、協働に対する認識の高さがわかる。
- ✓ 「住民自治」に関しては、「聞いたことがなく知らない」とする回答者が最も多く、住民自治を進めるために、市として取り組むべきこととして、「まちづくりに関する情報提供」が最も多く、その他「資金援助」や「人的支援」などが挙げられている。
- ✓ 「人口減少」による影響については、「地域のにぎわいや活力の喪失」とする回答者が最も多い。年齢別にみると30代～50代は、「税収の減少による財政の悪化」の回答が多く、20代、60代以上は、「労働力不足などによる地域産業の衰退」について回答が多い。
- ✓ 「人口減少対策」については、全校区共通して、「企業誘致や地場産業の育成などの雇用対策の実施」が最も多い。また、伊予、郡中、北山、由並、下灘校区では、「保育所や放課後児童クラブの整備、医療費助成などの子育て環境の充実」、南山、佐礼谷、中山、翠校区において、「転入奨励制度や就農支援制度な

どの定住制度の創設」について回答が多い。

- ✓ 「子育て支援」については、「子どもが安全に遊べる場所の提供」とする回答者が最も多い。年齢別にみると50～70代以上は、「保育所・放課後児童クラブ等の環境整備」が必要と考えられており、30～50代は、「医療費助成の充実」、20代は、「経済的な手当・支援」に関する支援が必要であると考えられている。
- ✓ 「地域が行うべき子育て支援」については、「子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動」とする回答がもっとも多い。また、20代、50～60代は、「子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所」が必要であると回答しており、30～40代は、「一時的に子どもを預かってくれる支援」が必要、60歳以上は、「赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供」が必要と回答している。以上のことから、子育て世帯においては、子どもを安心して、預けられ、なおかつ相談や交流のできる場所を欲しており、60歳以上もまた様々な年齢層の人と交流できる場所を求めていることがわかる。
- ✓ 校區別でみると、北山、佐礼谷、中山、翠校区においては、「赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供」が必要であり、伊予、佐礼谷、由並校区では、「一時的に子どもを預かってくれる支援」が必要との回答があった。

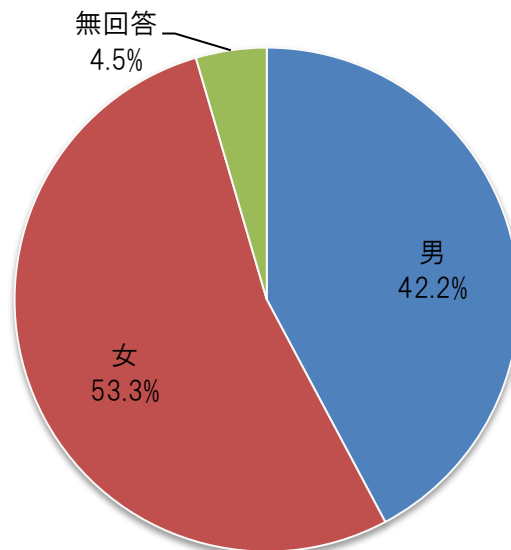
3 集計結果

あなたご自身のことについておたずねします。

問1：あなたの性別を教えてください。《1つに○印》

男性よりも、女性の回答者が多い。

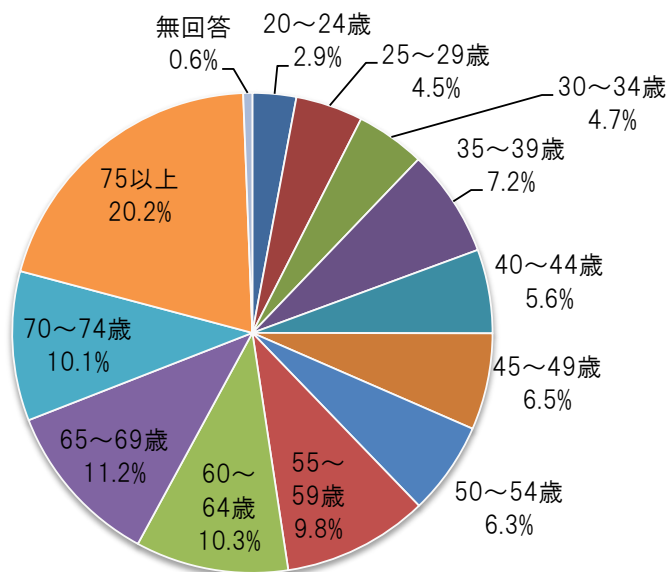
	件数	%
男	344	42.2
女	434	53.3
無回答	37	4.5
全体	815	100.0



問2：あなたの年齢を教えてください。《1つに○印》

60歳以上（60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上）の回答が、全体の半数近くを占めている。

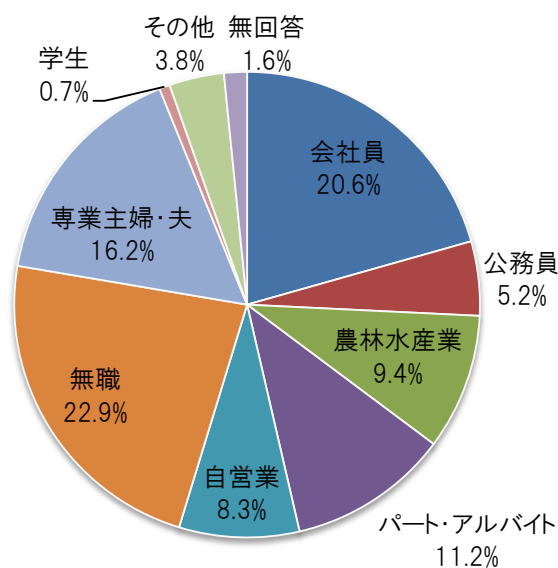
	件数	%
20～24歳	24	2.9
25～29歳	37	4.5
30～34歳	38	4.7
35～39歳	59	7.2
40～44歳	46	5.6
45～49歳	53	6.5
50～54歳	51	6.3
55～59歳	80	9.8
60～64歳	84	10.3
65～69歳	91	11.2
70～74歳	82	10.1
75歳以上	165	20.2
無回答	5	0.6
全体	815	100.0



問 3 : あなたのご職業を教えてください。《1つに○印》

「無職」、「会社員」、「専業主婦・夫」の占める割合は、他の職業と比べ多い。

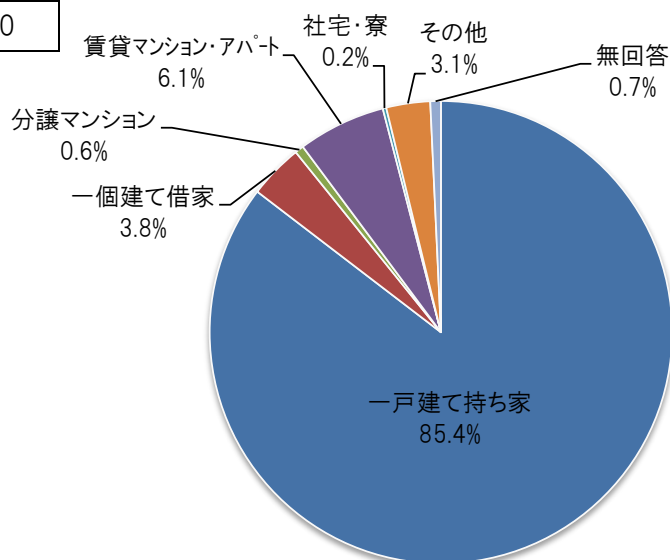
	件数	%
会社員	168	20.6
公務員	42	5.2
農林水産業	77	9.4
パート・アルバイト	91	11.2
自営業	68	8.3
無職	187	22.9
専業主婦・夫	132	16.2
学生	6	0.7
その他	31	3.8
無回答	13	1.6
合計	815	100.0



問 4 : あなたの現在のお住まいの種類を教えてください。《1つに○印》

「一戸建て持ち家」の回答者が8割以上を占めている。

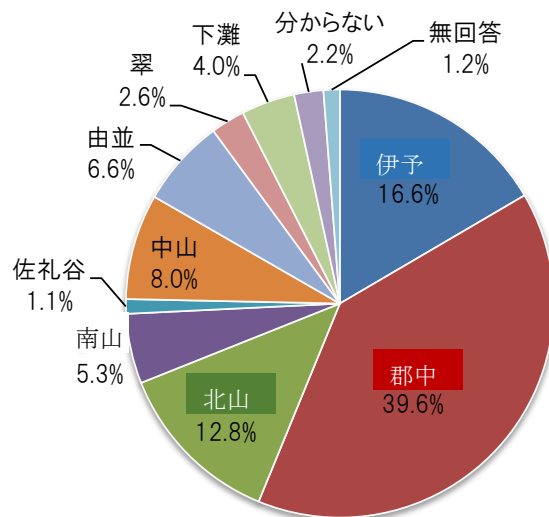
	件数	%
一戸建て持ち家	696	85.4
一個建て借家	31	3.8
分譲マンション	5	0.6
賃貸マンション・アパート	50	6.1
社宅・寮	2	0.2
その他	25	3.1
無回答	6	0.7
合計	815	100.0



問 5 : あなたのお住まいの小学校区を教えてください。《1つに○印》

「郡中」小学校区が 39.6%、「伊予」小学校区が 16.6%、「北山」小学校区が 12.8%と、他の小学校区と比べ回答者が多い。

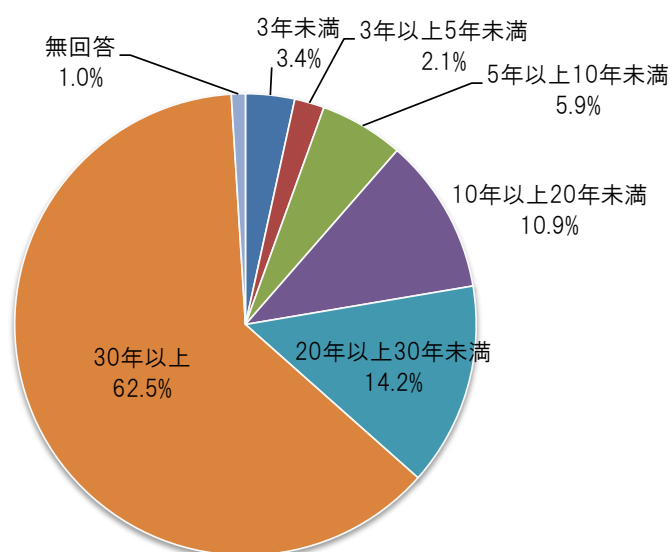
	件数	%
伊予	135	16.6
郡中	323	39.6
北山	104	12.8
南山	43	5.3
佐礼谷	9	1.1
中山	65	8.0
由並	54	6.6
翠	21	2.6
下灘	33	4.0
分からない	18	2.2
無回答	10	1.2
合計	815	100.0



問 6 : あなたは伊予市に住んで合計何年になりますか。《1つに○印》

「30年以上」在住している人が 62.5%と半数を占めている。

	件数	%
3年未満	28	3.4
3年以上5年未満	17	2.1
5年以上10年未満	48	5.9
10年以上20年未満	89	10.9
20年以上30年未満	116	14.2
30年以上	509	62.5
無回答	8	1.0
合計	815	100.0

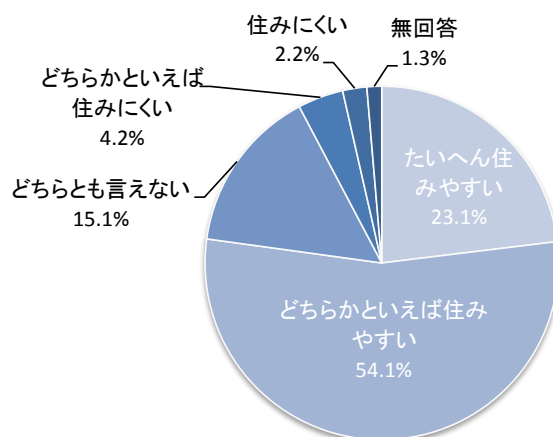


伊予市の住みやすさについておたずねします。

問 7：伊予市は住みやすいところだと感じますか。《1つに○印》

「どちらかといえば住みやすい」の割合が半数であり、「住みやすい」(23.1%)、「どちらかといえば住みやすい」(54.1%)の2回答の合計が、全体の77.2%を占めている。

	件数	%
たいへん住みやすい	188	23.1
どちらかといえば住みやすい	441	54.1
どちらとも言えない	123	15.1
どちらかといえば住みにくい	34	4.2
住みにくい	18	2.2
無回答	11	1.3
合計	815	100.0



【年齢別クロス】

全体の集計結果と同様に全体の傾向として、「どちらかといえば住みやすい」との回答が最も多い。

20～30代の回答者は、「どちらとも言えない」といった回答が次いで多く、40代以上の回答者は、「たいへん住みやすい」との回答が次いで高いことがわかる。

		たいへん住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらとも言えない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	合計
20歳台	件数	9	37	13	2	0	61
	%	14.8	60.7	21.3	3.3	0	100
30歳台	件数	16	57	18	2	4	97
	%	16.5	58.8	18.6	2.1	4.1	100
40歳台	件数	23	56	14	6	0	99
	%	23.2	56.6	14.1	6.1	0	100
50歳台	件数	29	74	19	5	2	129
	%	22.5	57.4	14.7	3.9	1.6	100
60歳台	件数	38	92	31	11	2	174
	%	21.8	52.9	17.8	6.3	1.1	100
70歳以上	件数	73	125	28	8	10	244
	%	29.9	51.2	11.5	3.3	4.1	100

【小学校区別クロス】

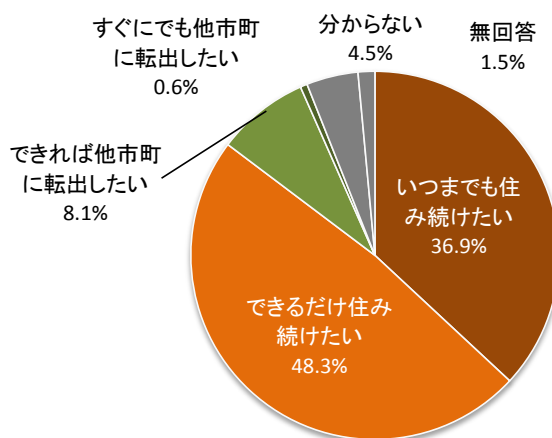
小学校区別でも同様に全体の傾向として、「どちらかといえば住みやすい」との回答が最も多い。「伊予」、「郡中」、「北山」校区に住む回答者は、「たいへん住みやすい」と感じている人が多く、「南山」、「佐礼谷」、「中山」、「由並」、「翠」、「下灘」校区に住む回答者は「どちらとも言えない」と回答している。

		たいへん 住みやす い	どちらか といえ ば住 みやす い	どちら とも 言え ない	どちら か とい え ば 住 み に く い	住 み に く い	無 回 答	合 計
伊予	件数	33	66	23	9	2	2	133
	%	24.8	49.6	17.3	6.8	1.5	1.5	100.0
郡中	件数	94	189	32	3	3	2	321
	%	29.3	58.9	10.0	0.9	0.9	0.6	100.0
北山	件数	23	65	9	6	1	0	104
	%	22.1	62.5	8.7	5.8	1.0	0.0	100.0
南山	件数	7	24	8	3	1	0	43
	%	16.3	55.8	18.6	7.0	2.3	0.0	100.0
佐礼谷	件数	1	5	2	1	0	0	9
	%	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	100.0
中山	件数	7	37	14	3	4	0	65
	%	10.8	56.9	21.5	4.6	6.2	0.0	100.0
由並	件数	9	25	11	7	2	0	54
	%	16.7	46.3	20.4	13.0	3.7	0.0	100.0
翠	件数	5	7	6	1	1	1	20
	%	25.0	35.0	30.0	5.0	5.0	5.0	100.0
下灘	件数	7	11	11	1	3	0	33
	%	21.2	33.3	33.3	3.0	9.1	0.0	100.0

問 8 : これからも伊予市に住み続けたいと思いますか。《 1 つに○印》

「できるだけ住み続けたい」の割合が 48.3%を占め、「いつまでも住み続けたい」(36.9%)の回答との合計が、全体の 85.2%を占めている。

	件数	%
いつまでも住み続けたい	301	36.9
できるだけ住み続けたい	394	48.3
できれば他市町に転出したい	66	8.1
すぐにも他市町に転出したい	5	0.6
分からない	37	4.5
無回答	12	1.5
合計	815	100.0



【年齢別クロス】

全体の集計結果同様に全世代の傾向として、「できるだけ住み続けたい」との回答が最も多い。また、30代以上は、「いつまでも住み続けたい」との回答が多い。

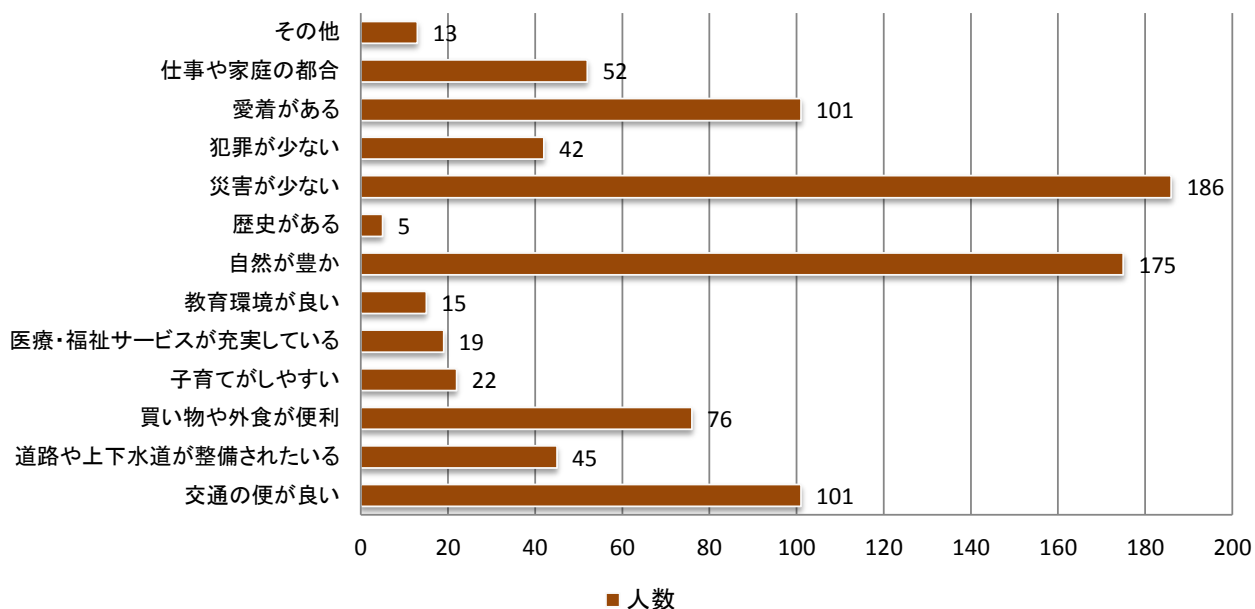
		いつまでも住み続けたい	できるだけ住み続けたい	できれば他市町に転出したい	すぐにも他市町に転出したい	分からない	合計
20 歳台	件数	7	30	11	2	11	61
	%	11.5	49.2	18.0	3.3	18.0	100
30 歳台	件数	21	56	10	1	9	97
	%	21.6	57.7	10.3	1.0	9.3	100
40 歳台	件数	27	53	11	1	6	98
	%	27.6	54.1	11.2	1.0	6.1	100
50 歳台	件数	52	63	8	1	5	129
	%	40.3	48.8	6.2	0.8	3.9	100
60 歳台	件数	74	87	11	0	2	174
	%	42.5	50.0	6.3	0.0	1.1	100
70 歳以上	件数	120	105	15	0	4	244
	%	49.2	43.0	6.1	0.0	1.6	100

問 8-1：住みたいと思う理由は何ですか。《3つに○印》（問 8 で「1.いつまでも住みたい」と答えた人）

(n=301)

問 8 において、「いつまでも住みたい」と回答した人の理由は、「災害が少ない (61.8%)」、「自然が豊か (58.1%)」の回答が多く、次いで「交通の便が良い (33.6%)」となっている。

	件数	%
交通の便が良い	101	33.6
道路や上下水道が整備されている	45	15.0
買い物や外食が便利	76	25.2
子育てがしやすい	22	7.3
医療・福祉サービスが充実している	19	6.3
教育環境が良い	15	5.0
自然が豊か	175	58.1
歴史がある	5	1.7
災害が少ない	186	61.8
犯罪が少ない	42	14.0
愛着がある	101	33.6
仕事や家庭の都合	52	17.3
その他	13	4.3



【年齢別クロス】

全ての世代に共通して、住み続けたいと思う理由は「自然が豊か」となっている。40代以上の回答では、「災害が少ない」と回答する人が多く、20代、30代は、「愛着がある」といったことを理由としている。

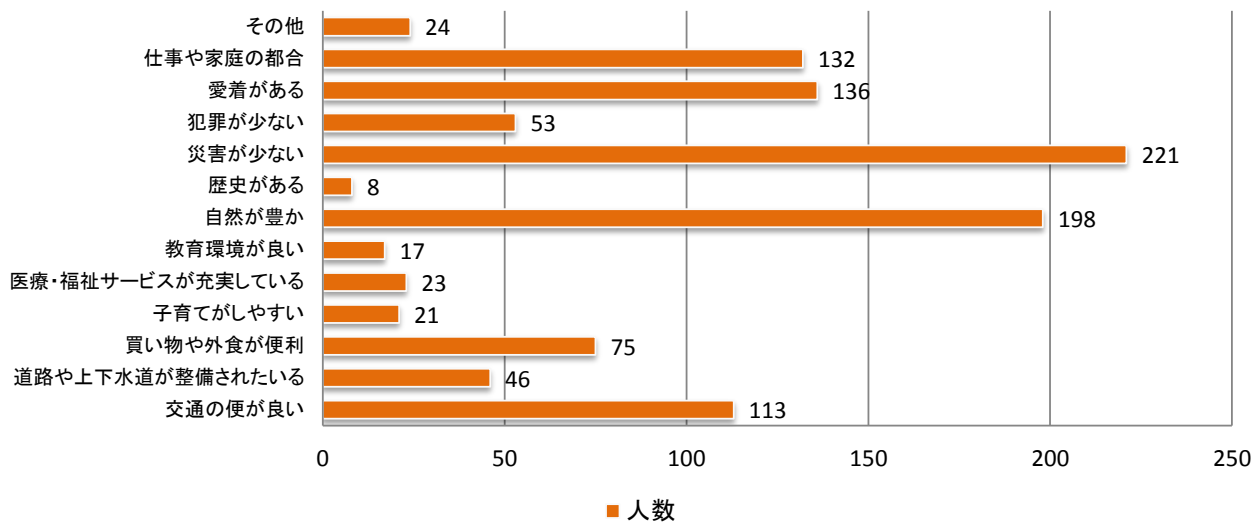
		交通の便が良い	道路や上下水道が整備されている	買い物や外食が便利	子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	自然が豊か	歴史がある	災害が少ない	犯罪が少ない	愛着がある	仕事や家庭の都合	その他
20歳台	件数	4	0	3	0	0	0	4	0	2	0	5	2	0
	%	6.6	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	6.6	0.0	3.3	0.0	8.2	3.3	0.0
30歳台	件数	2	1	4	7	0	2	12	0	11	1	12	7	1
	%	2.1	1.0	4.1	7.2	0.0	2.1	12.4	0.0	11.3	1.0	12.4	7.2	1.0
40歳台	件数	5	1	7	2	0	2	17	0	13	5	12	10	2
	%	5.1	1.0	7.1	2.0	0	2.0	17.2	0.0	13.1	5.1	12.1	10.1	2.0
50歳台	件数	23	2	19	2	1	0	31	1	29	8	17	11	4
	%	17.6	1.5	14.5	1.5	0.8	0.0	23.7	0.8	22.1	6.1	13.0	8.4	3.1
60歳台	件数	21	10	16	5	3	3	43	0	50	9	31	13	2
	%	12.0	5.7	9.1	2.9	1.7	1.7	24.6	0.0	28.6	5.1	17.7	7.4	1.1
70歳以上	件数	46	31	27	6	15	8	68	4	81	19	24	9	4
	%	18.6	12.6	10.9	2.4	6.1	3.2	27.5	1.6	32.8	7.7	9.7	3.6	1.6

問 8-1：住みたいと思う理由は何ですか。《3つに○印》（問 8 で「2.できるだけ住みたい」と答えた人）

(n=394)

問 8 において、「できるだけ住みたい」と回答した人の理由としては、「災害が少ない (56.1%)」、「自然が豊か (50.3%)」の回答が多く、次いで「交通の便が良い (28.7%)」となっており、「いつまでも住みたい」と回答した人の理由の上位と同じ結果となっている。

	件数	%
交通の便が良い	113	28.7
道路や上下水道が整備されている	46	11.7
買い物や外食が便利	75	19.0
子育てがしやすい	21	5.3
医療・福祉サービスが充実している	23	5.8
教育環境が良い	17	4.3
自然が豊か	198	50.3
歴史がある	8	2.0
災害が少ない	221	56.1
犯罪が少ない	53	13.5
愛着がある	136	34.5
仕事や家庭の都合	132	33.5
その他	24	6.1



【年齢別クロス】

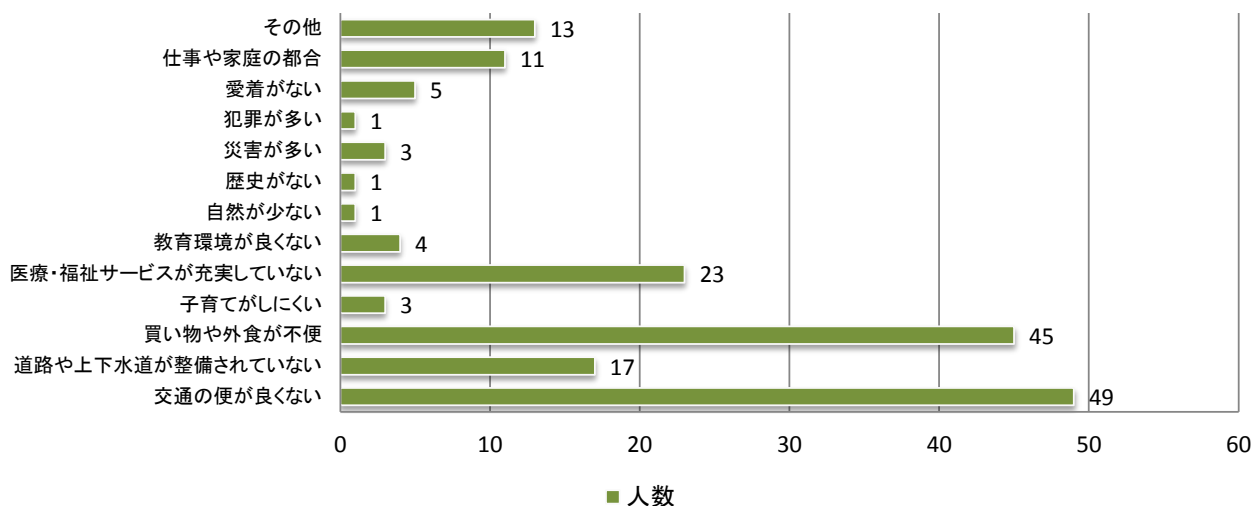
「いつまでも住み続けたい」と回答した人と同様に、全世代に共通して、「自然が豊か」であることを住み続けたい理由としている。また、20代、50代以上は、災害が少ないことも理由として回答しており、30代、40代は、「仕事や家庭の都合」を理由に挙げている。

		交通の便が良い	道路や上下水道が整備されている	買い物や外食が便利	子育てがしやすい	医療・福祉サービスが充実している	教育環境が良い	自然が豊か	歴史がある	災害が少ない	犯罪が少ない	愛着がある	仕事や家庭の都合	その他
20歳台	件数	5	3	5	4	1	4	14	0	14	5	14	17	1
	%	8.2	4.9	8.2	6.6	1.6	6.6	23.0	0.0	23.0	8.2	23.0	27.9	1.6
30歳台	件数	19	2	18	6	4	6	24	0	16	4	20	30	3
	%	19.6	2.1	18.6	6.2	4.1	6.2	24.7	0.0	16.5	4.1	20.6	30.9	3.1
40歳台	件数	15	2	10	6	1	1	24	0	24	5	20	24	2
	%	15.2	2.0	10.1	6.1	1.0	1.0	24.2	0.0	24.2	5.1	20.2	24.2	2.0
50歳台	件数	20	5	10	1	2	1	35	2	38	10	24	22	4
	%	15.3	3.8	7.6	0.8	1.5	0.8	26.7	1.5	29.0	7.6	18.3	16.8	3.1
60歳台	件数	32	12	18	3	5	2	45	2	63	10	21	20	7
	%	18.3	6.9	10.3	1.7	2.9	1.1	25.7	1.1	36.0	5.7	12.0	11.4	4.0
70歳以上	件数	22	22	14	1	10	3	56	4	66	19	37	19	7
	%	8.9	8.9	5.7	0.4	4.0	1.2	22.7	1.6	26.7	7.7	15.0	7.7	2.8

問 8-2：住み続けたいと思わない理由は何ですか。《3つに○印》（問 8 で「3.できれば他市町に転出したい」と答えた人）（n=66）

「できれば他市町に転出したい」と回答した人の理由としては、「交通の便が良くない（74.2%）」、「買い物や外食が不便（68.2%）」の回答が多く、次いで「医療・福祉サービスが充実していない（34.8%）」となっている。

	件数	%
交通の便が良くない	49	74.2
道路や上下水道が整備されていない	17	25.8
買い物や外食が不便	45	68.2
子育てがしにくい	3	4.5
医療・福祉サービスが充実していない	23	34.8
教育環境が良くない	4	6.1
自然が少ない	1	1.5
歴史がない	1	1.5
災害が多い	3	4.5
犯罪が多い	1	1.5
愛着がない	5	7.6
仕事や家庭の都合	11	16.7
その他	13	19.7



【年齢別クロス】

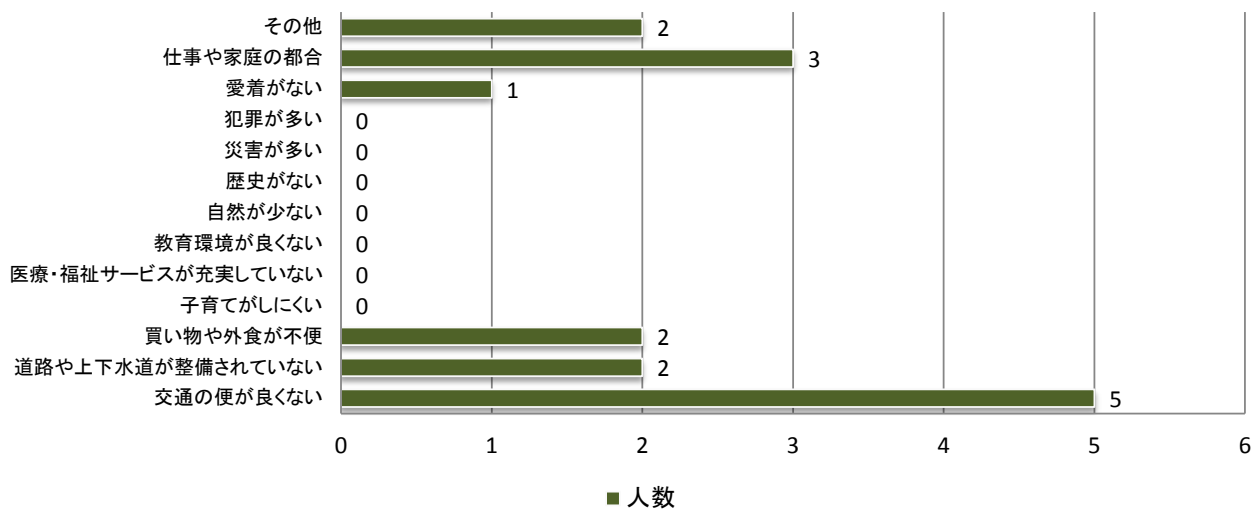
住み続けたくない理由として、全世代共通で「交通の便が良くない」といった交通面に対し、不満を感じている。また、20代、30代、50代以上は、「買い物や外食が不便」といった商業・娯楽面に対する不満を感じており、40代は、「医療・福祉サービスが充実していない」といった医療面に対し、不満を抱いていることがわかる。

		交通の便が良くない	道路や上下水道が整備されていない	買い物や外食が不便	子育てがしにくい	医療・福祉サービスが充実していない	教育環境が良くない	自然が少ない	歴史がない	災害が多い	犯罪が多い	愛着がない	仕事や家庭の都合	その他
20歳台	件数	7	3	9	2	3	0	0	1	0	0	0	4	0
	%	11.5	4.9	14.8	3.3	4.9	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	6.6	0.0
30歳台	件数	7	2	6	1	3	1	1	0	0	1	1	2	1
	%	7.2	2.1	6.2	1.0	3.1	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	2.1	1.0
40歳台	件数	7	5	4	0	7	2	0	0	1	0	2	1	3
	%	7.1	5.1	4.0	0.0	7.1	2.0	0.0	0.0	1.0	0.0	2.0	1.0	3.0
50歳台	件数	8	1	6	0	2	0	0	0	0	0	1	1	2
	%	6.1	0.8	4.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	1.5
60歳台	件数	9	4	8	0	5	0	0	0	1	0	1	2	1
	%	5.1	2.3	4.6	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	1.1	0.6
70歳以上	件数	11	2	12	0	3	1	0	0	1	0	0	1	6
	%	4.5	0.8	4.9	0.0	1.2	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	2.4

問 8-2 : 住み続けたいと思わない理由は何ですか。《3つに○印》(問 8 で「4.すぐにでも他市町に転出したい」と答えた人) MA (n=5)

「すぐにでも他市町に転出したい」と回答した人の理由は、「交通の便が良くない (100.0%)」が多く、次いで「道路や上下水道が整備されていない (40.0%)」、「買い物や外食が不便 (40.0%)」の回答となっている。

	件数	%
交通の便が良くない	5	100.0
道路や上下水道が整備されていない	2	40.0
買い物や外食が不便	2	40.0
子育てがしにくい	0	0.0
医療・福祉サービスが充実していない	0	0.0
教育環境が良くない	0	0.0
自然が少ない	0	0.0
歴史がない	0	0.0
災害が多い	0	0.0
犯罪が多い	0	0.0
愛着がない	1	20.0
仕事や家庭の都合	3	60.0
その他	2	40.0

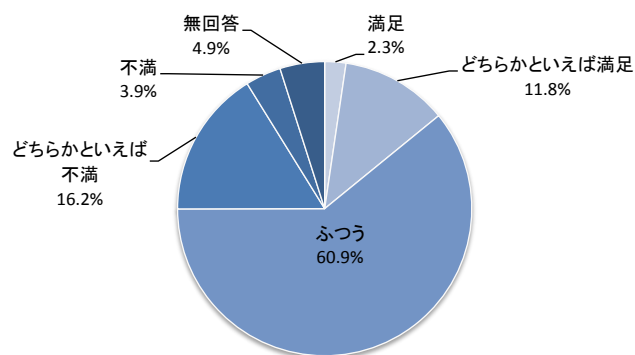


伊予市の現在の「取組み」についておたずねします。

問9：これまで進めてきた伊予市の取組み（施策・事業）について、総合的にどのように感じますか。《1つに○印》

これまで進めてきた伊予市の取組みに対して、総じて、「ふつう（60.9%）」との回答が最も多い結果となった。次いで、「どちらかといえば不満（16.2%）」との回答もあった。

	件数	%
満足	19	2.3
どちらかといえば満足	96	11.8
ふつう	496	60.9
どちらかといえば不満	132	16.2
不満	32	3.9
無回答	40	4.9
合計	815	100.0



【年齢別クロス】

全体の集計結果と同様に、全世代共通して、これまで進めてきた伊予市の取組みについては、「ふつう」との回答が最も多い。また、30代～60代までは、「どちらかといえば不満」といった回答が高くなっている。

		満足	どちらかとい えば満足	ふつう	どちらかとい えば不満	不満	合計
20 歳台	件数	2	7	44	5	2	60
	%	3.3	11.7	73.3	8.3	3.3	100.0
30 歳台	件数	1	8	61	20	6	96
	%	1	8.3	63.5	20.8	6.3	100.0
40 歳台	件数	3	10	57	20	4	94
	%	3.2	10.6	60.6	21.3	4.3	100.0
50 歳台	件数	3	13	69	36	5	126
	%	2.4	10.3	54.8	28.6	4	100.0
60 歳台	件数	0	16	110	29	9	164
	%	0	9.8	67.1	17.7	5.5	100.0
70 歳 以上	件数	10	42	155	22	6	235
	%	4.3	17.9	66.0	9.4	2.6	100.0

【小学校区別クロス】

小学校区別でも同様に全体の意向として、「ふつう」との回答が最も多い。また、「南山」、「伊予」校区に住む回答者は、「どちらかといえば満足」と感じている人が次いで多く、その2校区を除いた地域では、「どちらかといえば不満」であるとの回答が多くなっている。

		満足	どちらかとい えば満足	ふつう	どちらかとい えば不満	不満	合計
伊予	件数	4	20	87	16	4	131
	%	3.1	15.3	66.4	12.2	3.1	100.0
郡中	件数	4	39	195	53	18	309
	%	1.3	12.6	63.1	17.2	5.8	100.0
北山	件数	2	7	68	23	2	102
	%	2.0	6.9	66.7	22.5	2.0	100.0
南山	件数	4	8	24	2	2	40
	%	10.0	20.0	60.0	5.0	5.0	100.0
佐礼谷	件数	0	0	7	1	0	8
	%	0.0	0.0	87.5	12.5	0.0	100.0
中山	件数	1	8	42	9	1	61
	%	1.6	13.1	68.9	14.8	1.6	100.0
由並	件数	1	7	25	16	3	52
	%	1.9	13.5	48.1	30.8	5.8	100.0
翠	件数	2	1	13	4	0	20
	%	10.0	5.0	65.0	20.0	0.0	100.0
下灘	件数	0	4	19	6	1	30
	%	0.0	13.3	63.3	20.0	3.3	100.0

問 10 : 伊予市の取り組みに対し、これからあなたが期待する「重要度」について、最も近い番号を1つ選んで○印を付けてください。※分からない場合は「ふつう」に○を付けてください。

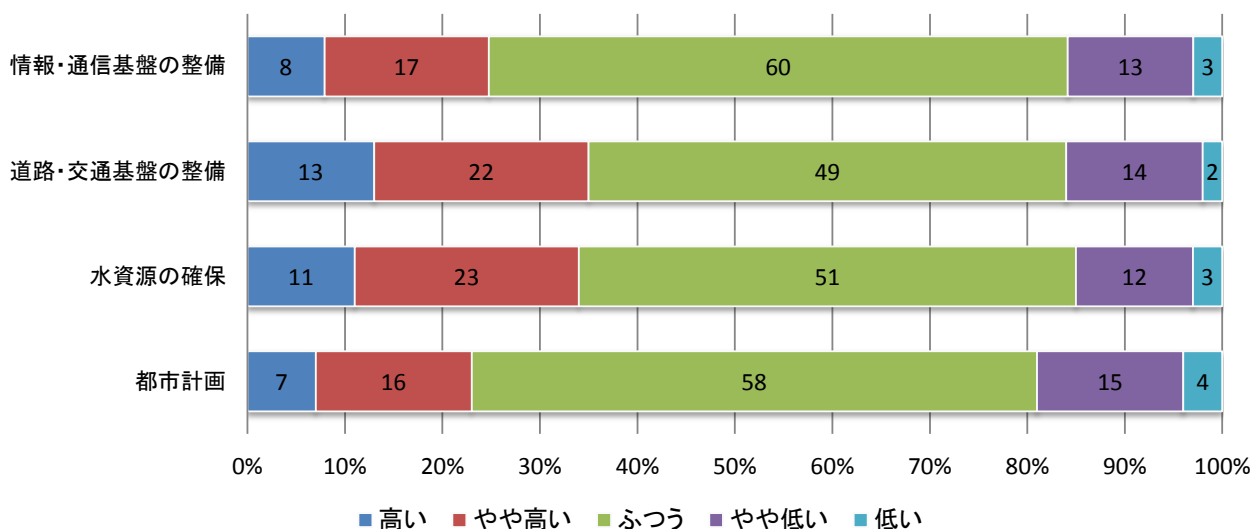
市が掲げる「基本目標」ごとに最も重要だと思われる取り組みの番号を1つ選んで○印を付けてください。

※合計点＝各項目の票数に対して、高い：5点、やや高い：4点、ふつう：3点、やや低い：2点、低い：1点の得点をかけ合わせて、算出。）

◇都市基盤の整備◇

「都市基盤の整備」に関する取り組みに対して、「ふつう」の項目を除くと、「やや高い」といった意見の割合が「やや低い」や「低い」と比べて、高いことがわかる。

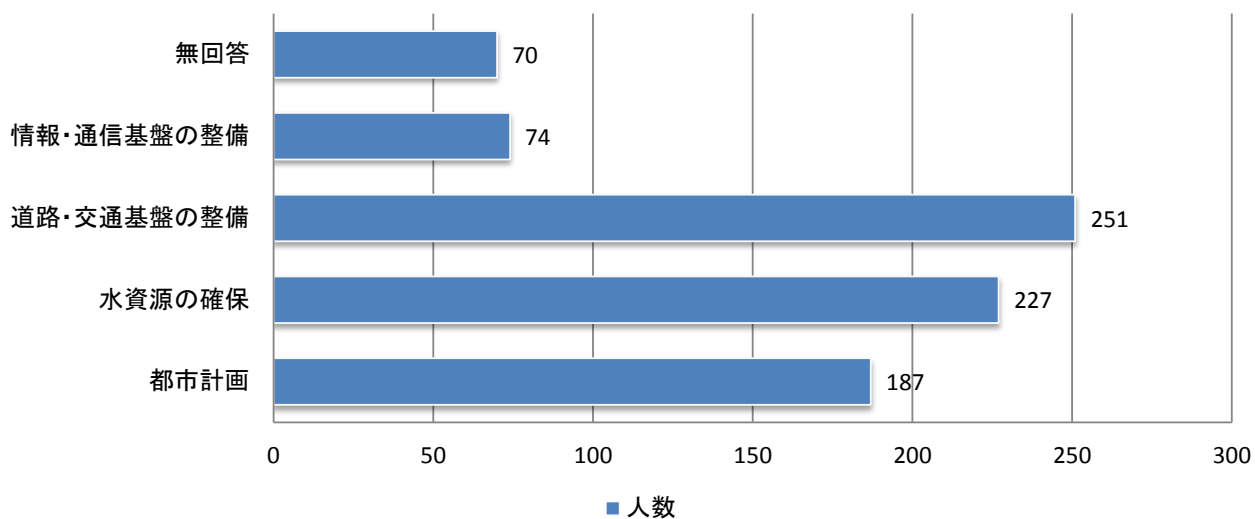
		高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	合計	合計点
都市計画	件数	55	118	429	108	29	739	2,279
	%	7.4	16.0	58.1	14.6	3.9	100.0	
水資源の確保	件数	80	169	374	91	21	735	2,401
	%	10.9	23.0	50.9	12.4	2.9	100.0	
道路・交通基盤の整備	件数	96	161	360	107	18	742	2,436
	%	12.9	21.7	48.5	14.4	2.4	100.0	
情報・通信基盤の整備	件数	59	121	439	93	21	733	2,303
	%	8.0	16.5	59.9	12.7	2.9	100.0	



◇ 「都市基盤の整備」の中で最も重要だと思われる取り組み ◇

「都市基盤の整備」に関する取り組みの中で、「道路・交通基盤の整備」が最も重要であると考えられている。

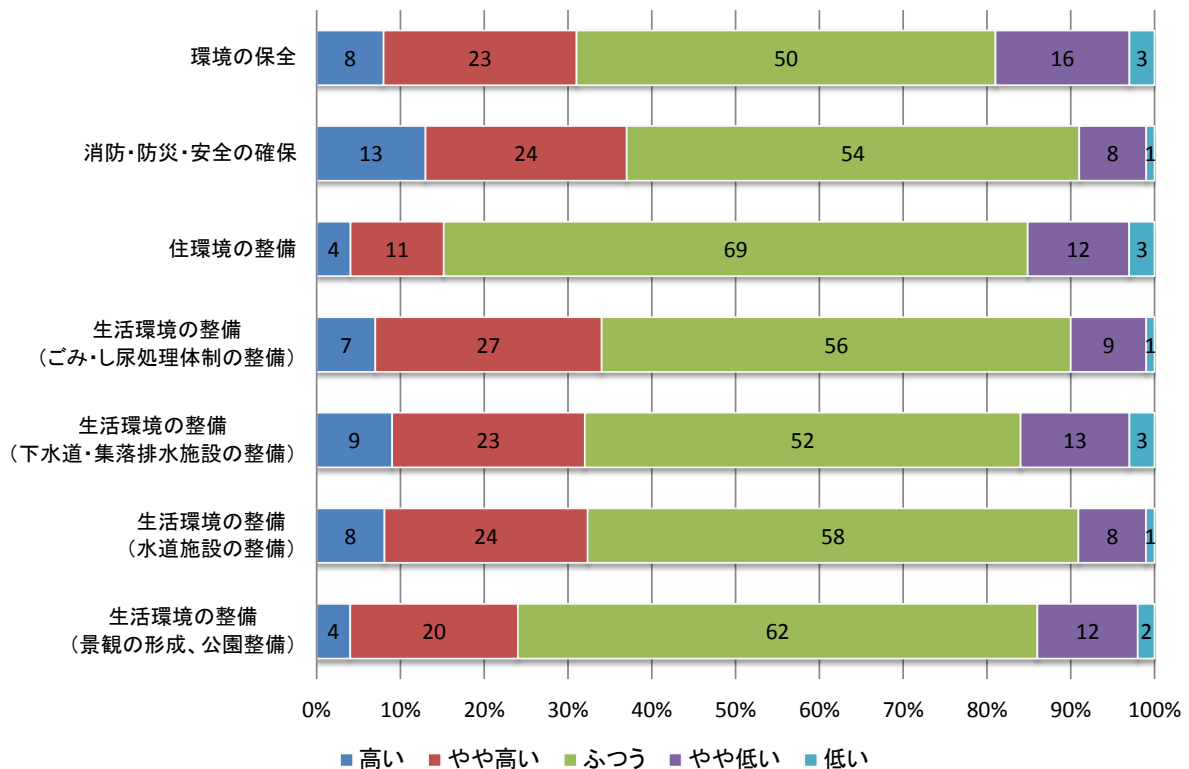
	件数	%
都市計画	187	22.9
水資源の確保	227	27.9
道路・交通基盤の整備	251	30.8
情報・通信基盤の整備	74	9.1
無回答	76	9.3
合計	815	100.0



◇住環境の整備と生活安全の確保◇

「住環境の整備と生活安全の確保」に関する取り組みに対しては、「ふつう」の項目を除くと、「やや高い」といった意見の割合が「やや低い」や「低い」と比べて、高いことがわかる。しかしながら、「住環境の整備」についてのみ重要度が「やや低い」との回答が多い。

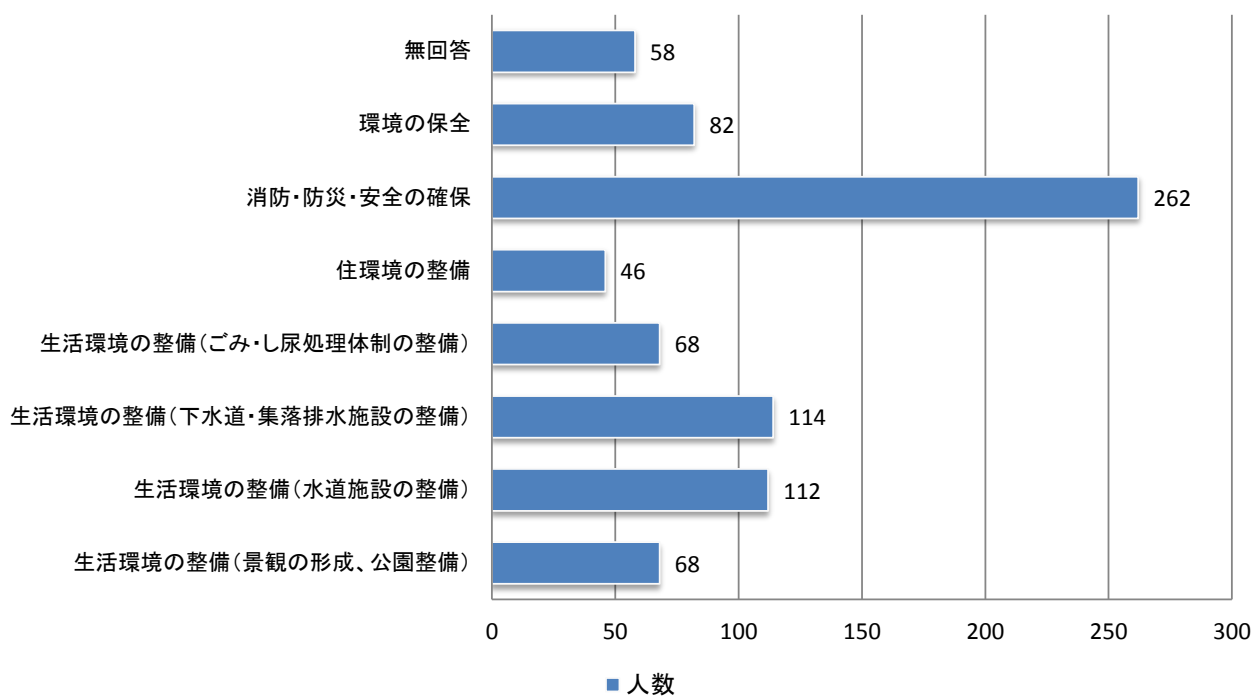
		高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	合計	合計点
生活環境の整備 (景観の形成、公園整備)	件数	32	144	456	86	18	736	2,294
	%	4.3	19.6	62.0	11.7	2.4	100.0	
生活環境の整備 (水道施設の整備)	件数	61	180	424	61	10	736	2,429
	%	8.3	24.5	57.6	8.3	1.4	100.0	
生活環境の整備 (下水道・集落排水施設の整備)	件数	69	166	382	99	21	737	2,374
	%	9.4	22.5	51.8	13.4	2.8	100.0	
生活環境の整備 (ごみ・し尿処理体制の整備)	件数	52	198	410	65	7	732	2,419
	%	7.1	27.0	56.0	8.9	1.0	100.0	
住環境の整備	件数	29	82	506	91	22	730	2,195
	%	4.0	11.2	69.3	12.5	3.0	100.0	
消防・防災・安全の確保	件数	98	178	399	60	6	741	2,525
	%	13.2	24.0	53.8	8.1	0.8	100.0	
環境の保全	件数	55	165	368	120	21	729	2,300
	%	7.5	22.6	50.5	16.5	2.9	100.0	



◇ 「住環境の整備と生活安全の確保」の中で最も重要だと思われる取り組み ◇

「住環境の整備と生活安全の確保」に関する取り組みの中で、「消防・防災・安全の確保」が最も重要であると考えられている。

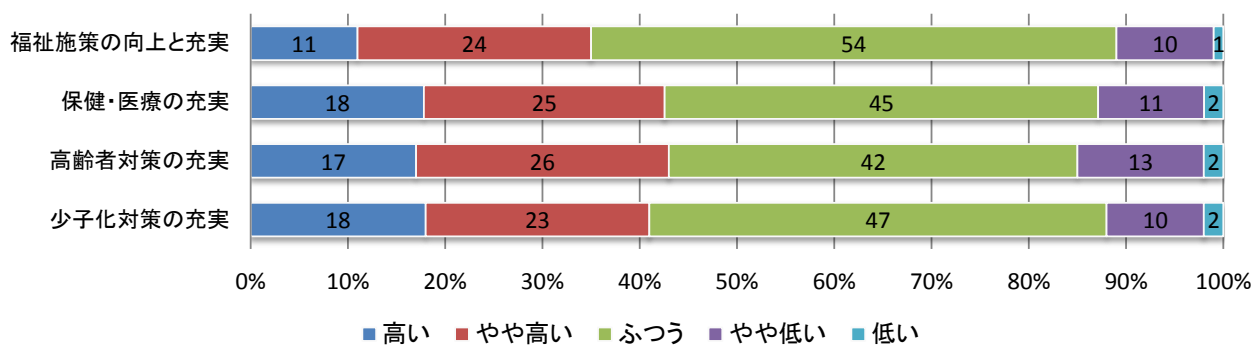
	件数	%
生活環境の整備(景観の形成、公園整備)	68	8.3
生活環境の整備(水道施設の整備)	112	13.7
生活環境の整備(下水道・集落排水施設の整備)	114	14.0
生活環境の整備(ごみ・し尿処理体制の整備)	68	8.3
住環境の整備	46	5.6
消防・防災・安全の確保	262	32.1
環境の保全	82	10.1
無回答	63	7.7
合計	815	100.0



◇福祉の向上と保健・医療の充実◇

「福祉の向上と保健・医療の充実」に関する取り組みに対しては、「ふつう」の項目を除くと、「やや高い」といった意見の割合が「やや低い」や「低い」と比べて、高いことがわかる。

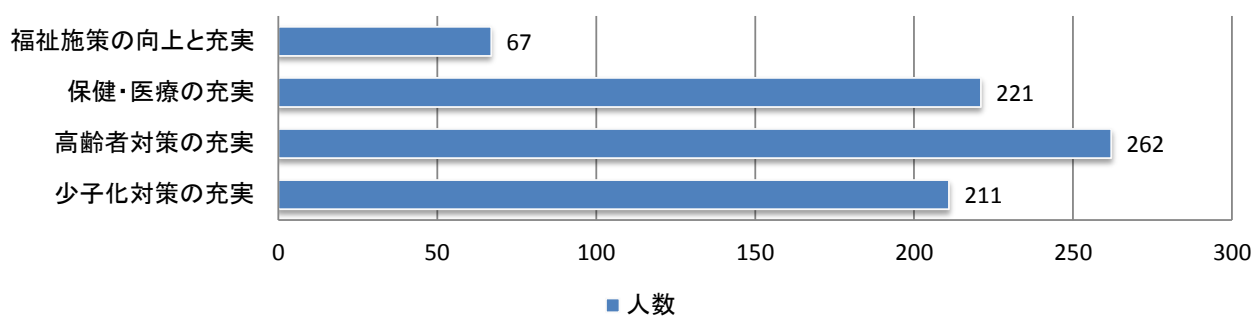
		高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	合計	合計点
少子化対策の充実	件数	129	168	346	73	15	731	2,516
	%	17.6	23.0	47.3	10.0	2.1	100.0	
高齢者対策の充実	件数	127	190	313	96	14	740	2,540
	%	17.2	25.7	42.3	13.0	1.9	100.0	
保健・医療の充実	件数	131	178	327	79	11	726	2,517
	%	18.0	24.5	45.0	10.9	1.5	100.0	
福祉施策の向上と充実	件数	77	172	396	75	8	728	2,419
	%	10.6	23.6	54.4	10.3	1.1	100.0	



◇ 「福祉の向上と保健・医療の充実」の中で最も重要だと思われる取り組み◇

「福祉の向上と保健・医療の充実」に関する取り組みの中で、「高齢者対策の充実」が最も重要であると考えられている。

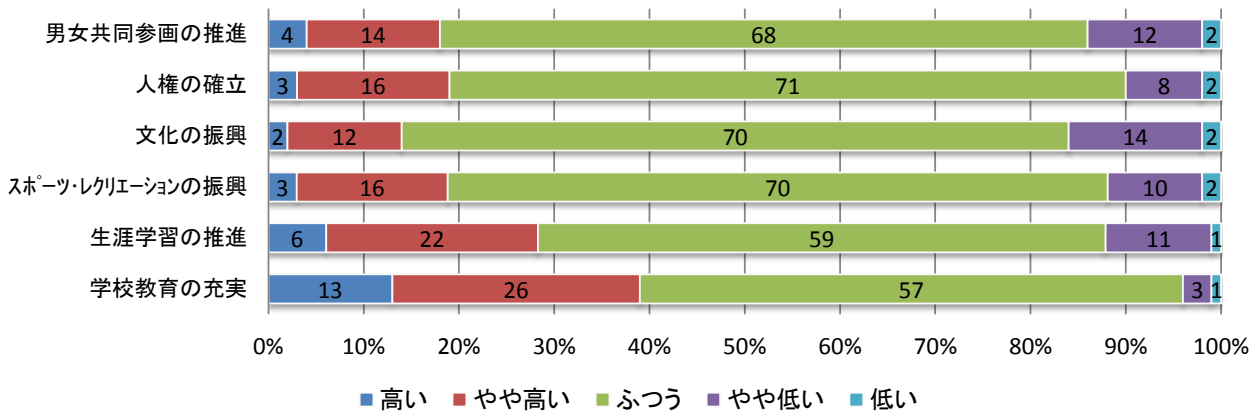
	件数	%
少子化対策の充実	211	25.9
高齢者対策の充実	262	32.1
保健・医療の充実	221	27.1
福祉施策の向上と充実	67	8.2
無回答	54	6.6
合計	815	100.0



◇教育・文化・スポレクの振興◇

「教育・文化・スポレクの振興」に関する取り組みに対しては、「ふつう」の項目を除くと、「やや高い」といった意見の割合が「やや低い」や「低い」と比べて、高いことがわかる。しかしながら、「文化の振興」についてのみ重要度が「やや低い」との回答が多い。

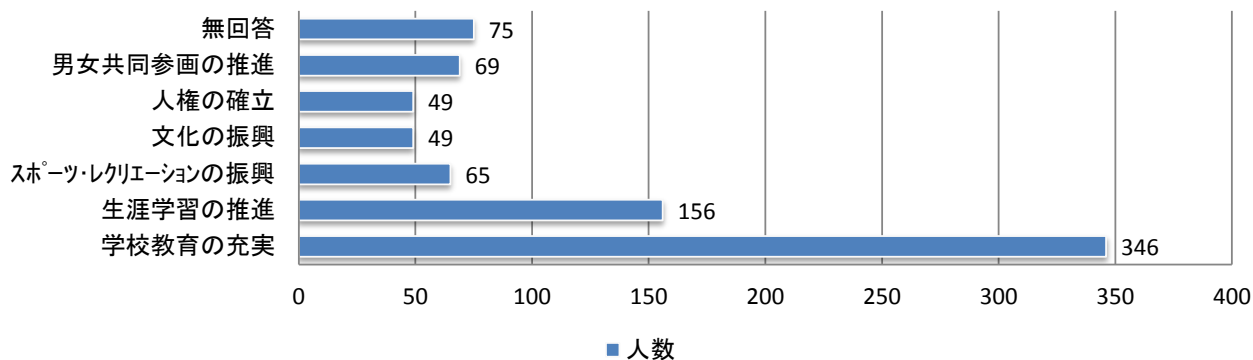
		高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	合計	合計点
学校教育の充実	件数	97	187	415	25	8	732	2,536
	%	13.3	25.5	56.7	3.4	1.1	100.0	
生涯学習の推進	件数	46	162	425	79	9	721	2,320
	%	6.4	22.5	58.9	11.0	1.2	100.0	
スポーツ・レクリエーションの振興	件数	18	118	501	70	11	718	2,216
	%	2.5	16.4	69.8	9.7	1.5	100.0	
文化の振興	件数	17	85	505	99	11	717	2,149
	%	2.4	11.9	70.4	13.8	1.5	100.0	
人権の確立	件数	21	114	508	60	12	715	2,217
	%	2.9	15.9	71.0	8.4	1.7	100.0	
男女共同参画の推進	件数	30	103	483	83	13	712	2,190
	%	4.2	14.5	67.8	11.7	1.8	100.0	



◇ 「教育・文化・スポレクの振興」の中で最も重要だと思われる取り組み ◇

「教育・文化・スポレクの振興」に関する取り組みの中で、「学校教育の充実」が最も重要であると考えられている。

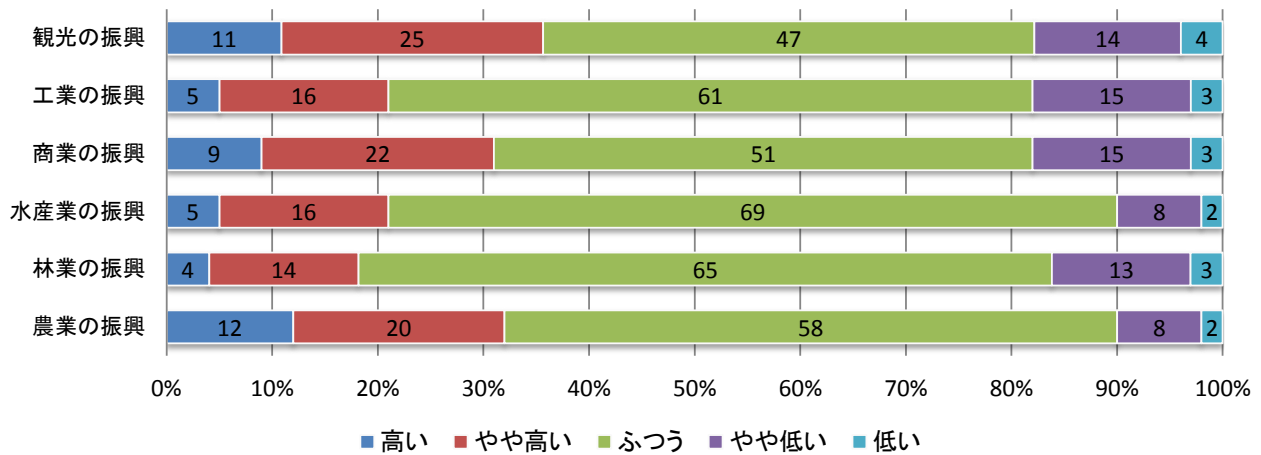
	件数	%
学校教育の充実	346	42.5
生涯学習の推進	156	19.1
スポーツ・レクリエーションの振興	65	8.0
文化の振興	49	6.0
人権の確立	49	6.0
男女共同参画の推進	69	8.5
無回答	81	9.9
合計	815	100.0



◇産業の振興◇

「産業の振興」に関する取り組みに対しては、「ふつう」の項目を除くと、「やや高い」といった意見の割合が「やや低い」や「低い」と比べて、高いことがわかる。

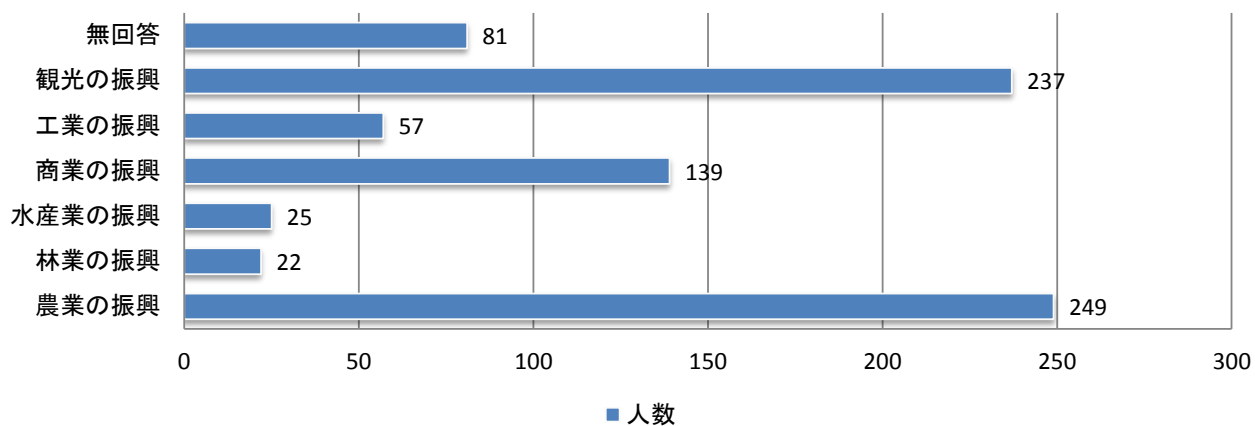
		高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	合計	合計点
農業の振興	件数	85	150	425	61	12	733	2,434
	%	11.6	20.5	58.0	8.3	1.6	100.0	
林業の振興	件数	28	104	471	97	20	720	2,183
	%	3.9	14.4	65.4	13.5	2.8	100.0	
水産業の振興	件数	36	114	497	58	12	717	2,255
	%	5.0	15.9	69.3	8.1	1.7	100.0	
商業の振興	件数	64	160	375	109	21	729	2,324
	%	8.8	21.9	51.4	15.0	2.9	100.0	
工業の振興	件数	38	115	436	111	18	718	2,198
	%	5.3	16.0	60.7	15.5	2.5	100.0	
観光の振興	件数	80	179	341	99	26	725	2,363
	%	11.0	24.7	47.0	13.7	3.6	100.0	



◇ 「産業の振興」の中で最も重要だと思われる取り組み ◇

「産業の振興」に関する取り組みの中で、「農業の振興」が最も重要であると考えられている。

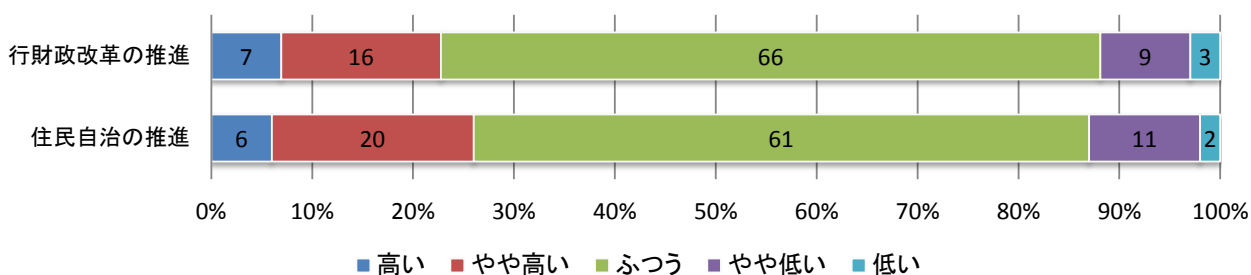
	件数	%
農業の振興	249	30.6
林業の振興	22	2.7
水産業の振興	25	3.1
商業の振興	139	17.1
工業の振興	57	7.0
観光の振興	237	29.1
無回答	86	10.6
合計	815	100.0



◇参画と協働の推進・行財政改革◇

「参画と協働の推進・行財政改革」に関する取り組みに対しては、「ふつう」の項目を除くと、「やや高い」といった意見の割合が「やや低い」や「低い」と比べて、高いことがわかる。

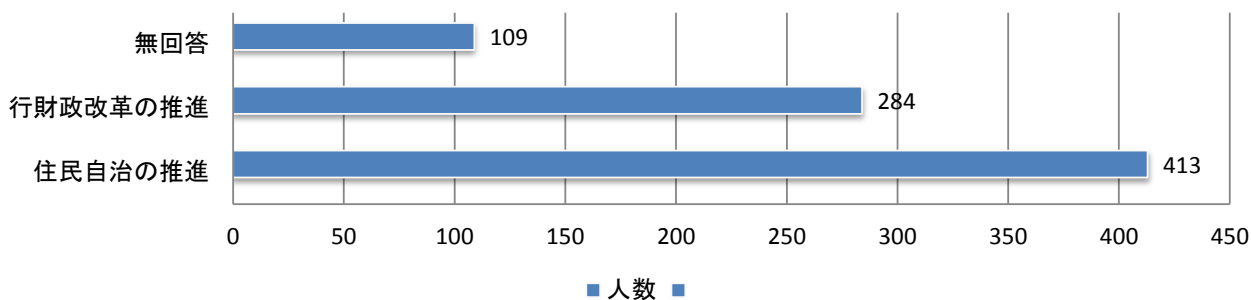
		高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い	合計	合計点
住民自治の推進	件数	44	143	447	77	16	727	2,303
	%	6.1	19.7	61.5	10.6	2.2	100.0	
行財政改革の推進	件数	49	114	472	61	20	716	2,259
	%	6.8	15.9	65.9	8.5	2.8	100.0	



◇「参画と協働の推進・行財政改革」の中で最も重要だと思われる取り組み ◇

「参画と協働の推進・行財政改革」に関する取り組みの中で、「住民自治の推進」が最も重要であると考えられている。

	件数	%
住民自治の推進	413	50.7
行財政改革の推進	284	34.8
無回答	118	14.5
合計	815	100.0



■問 10 の結果を基に算出した合計点から、①個別順位、②分野別順位としてまとめた。内容については、以下の通りである。

「高齢者対策の充実」の回答が最も多く、次いで「学校教育の充実」、「消防・防災・安全の確保」となっている。

分野別でみると、「福祉の向上と保健・医療の充実」に関する取り組みの回答が最も多く、次いで「住環境の整備と生活安全の確保」、「都市基盤の整備」に関する施策の回答が多くなっている。

①個別順位（※選択された重要度の票数に対して、高い：5点、やや高い：4点、ふつう：3点、やや低い：2点、低い：1点の得点をかけ合わせて、合計得点を算出し、順位付けを行った。）

順位	項目	合計得点
1位	高齢者対策の充実	2,540
2位	学校教育の充実	2,536
3位	消防・防災・安全の確保	2,525
4位	保健・医療の充実	2,517
5位	少子化対策の充実	2,516
6位	道路・交通基盤の整備	2,436
7位	農業の振興	2,434
8位	生活環境の整備	2,429
9位	水道施設の整備	2,419
10位	生活環境の整備	2,419

②分野別順位（※上記の個別順位の得点を基に、分野ごとで得点を足し合わせ、順位付けを行った。）

順位	分野	平均値	合計得点
1位	福祉の向上と保健・医療の充実	2498.0	9992
2位	住環境の整備と生活安全の確保	2362.3	16536
3位	都市基盤の整備	2354.8	9419
4位	産業の振興	2292.8	13757
5位	参画と協働の推進・行財政改革	2281.0	4562
6位	教育・文化・スポレクの振興	2271.3	13628

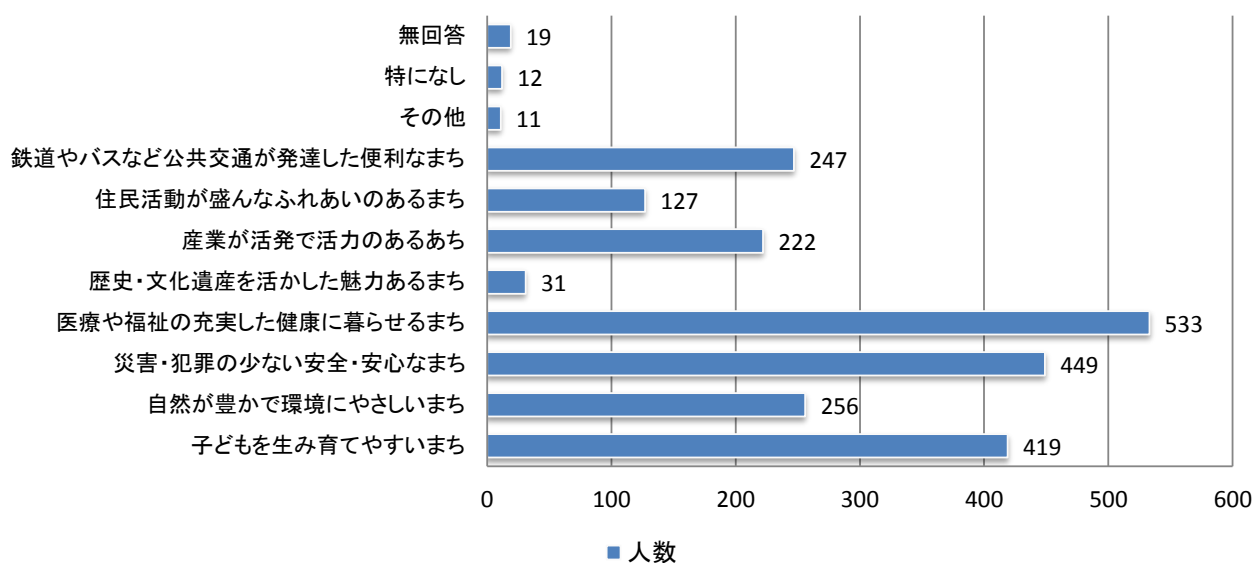
伊予市の今後の「取り組み」についておたずねします。

問 11：これからの伊予市をどのようなまちにしていきたいと思いませんか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号に○印を付けてください。

今後、伊予市がめざすべき都市像を、選択肢の中から3つ以内で回答してもらった結果、「医療や福祉の充実した健康に暮らせるまち」、「災害・犯罪の少ない安全・安心なまち」、「子どもを生み育てやすいまち」の割合が高くなっている。

複数を選択する回答方式であるため、市民の生活基盤となる「医療・福祉のまち」の項目が最も多くなっていることを前提とした場合、2位の「安全・安心なまち」、3位「子育てしやすいまち」に対する関心が高いことがわかる。

	件数	%
子どもを生み育てやすいまち	419	51.4
自然が豊かで環境にやさしいまち	256	31.4
災害・犯罪の少ない安全・安心なまち	449	55.1
医療や福祉の充実した健康に暮らせるまち	533	65.4
歴史・文化遺産を活かした魅力あるまち	31	3.8
産業が活発で活力のあるまち	222	27.2
住民活動が盛んなふれあいのあるまち	127	15.6
鉄道やバスなど公共交通が発達した便利なまち	247	30.3
その他	11	1.3
特になし	12	1.5
無回答	19	2.3



【年齢別クロス】

複数を選択する回答方式のため、各年代に共通して「医療・福祉のまち」の割合が最も高くなっているが、次いで、50代以上は、「安全・安心なまち」、20代～40代までは、「子育てしやすいまち」に対する意向が高くなっている。

		子どもを 生み育て やすいまち	自然が豊か で環境に やさしい まち	災害・犯 罪の少な い安全・ 安心な まち	医療や福 祉の充実 した健康 に暮らせ るまち	歴史・文 化遺産を 活かした 魅力ある まち	産業が活 発で活力 のあるあ ち	住民活動 が盛んな ふれあい のあるま ち	利なまち 鉄道やバ スなど公 共交通が 発達した 便	その他	特になし
20歳台	件数	41	21	34	36	3	10	6	22	2	1
	%	67.2	34.4	55.7	59.0	4.9	16.4	9.8	36.1	3.3	1.6
30歳台	件数	74	25	52	64	2	13	14	32	1	1
	%	76.3	25.8	53.6	66.0	2.1	13.4	14.4	33.0	1.0	1.0
40歳台	件数	57	36	51	68	3	22	12	30	3	3
	%	57.6	36.4	51.5	68.7	3.0	22.2	12.1	30.3	3.0	3.0
50歳台	件数	64	42	77	87	3	46	24	37	2	0
	%	48.9	32.1	58.8	66.4	2.3	35.1	18.3	28.2	1.5	0.0
60歳台	件数	83	58	96	124	7	62	28	46	0	2
	%	47.4	33.1	54.9	70.9	4.0	35.4	16.0	26.3	0.0	1.1
70歳 以上	件数	100	73	138	153	13	69	43	80	3	5
	%	40.5	29.6	55.9	61.9	5.3	27.9	17.4	32.4	1.2	2.0

【小学校区別クロス】

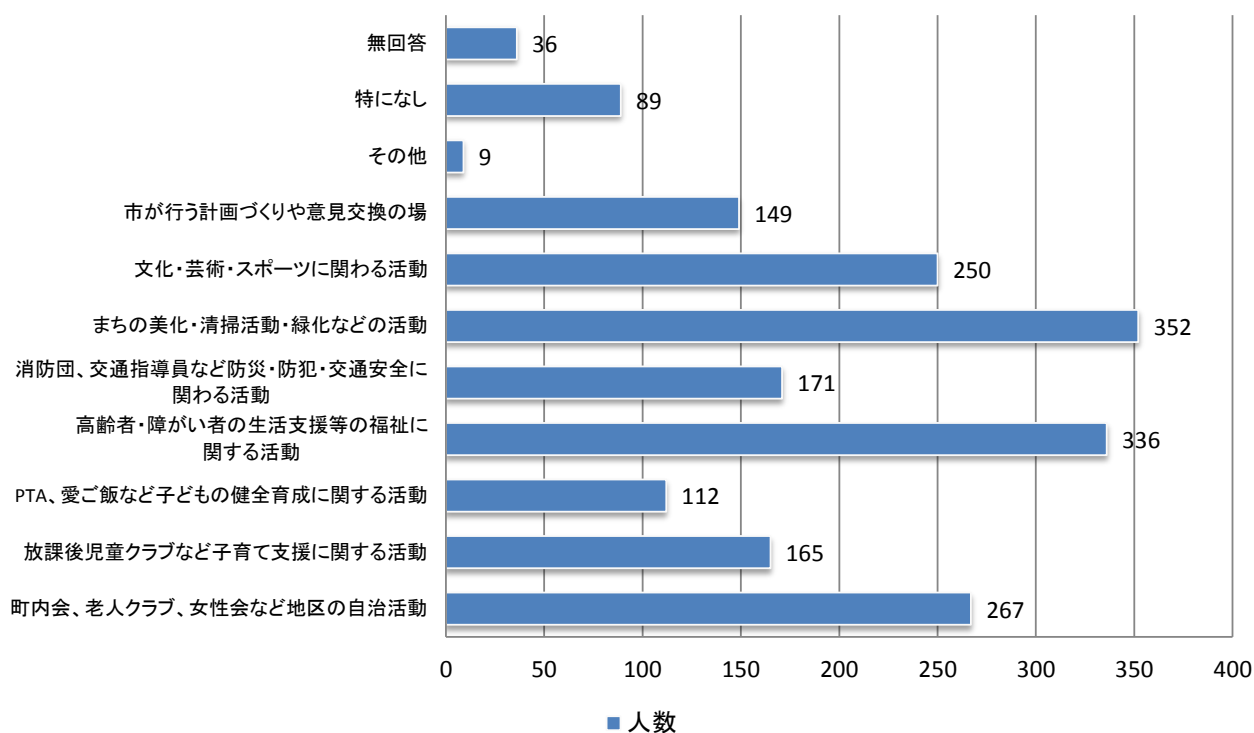
校区別においても全体集計の結果同様、各校区共通して「医療・福祉のまち」の割合が最も高くなっている。次いで、「郡中」、「北山」、「南山」、「翠」、「下灘」の校区においては、「災害・犯罪の少ない安全・安心なまち」との回答が多く、「佐礼谷」、「中山」、「由並」校区では、「子どもを生み育てやすいまち」との回答が多い。

		子どもを生み育てやすいまち	自然が豊かで環境にやさしいまち	災害・犯罪の少ない安全・安心なまち	医療や福祉の充実した健康に暮らせるまち	歴史・文化遺産を活かした魅力あるまち	産業が活発で活力のあるまち	住民活動が盛んなふれあいのあるまち	鉄道やバスなど公共交通が発達した便利なまち	その他	特になし
伊予	件数	64	38	62	78	9	32	18	67	4	3
	%	47.4	28.1	45.9	57.8	6.7	23.7	13.3	49.6	3.0	2.2
郡中	件数	176	99	204	216	7	96	52	69	4	4
	%	54.5	30.7	63.2	66.9	2.2	29.7	16.1	21.4	1.2	1.2
北山	件数	54	39	56	67	5	20	17	33	2	2
	%	51.9	37.5	53.8	64.4	4.8	19.2	16.3	31.7	1.9	1.9
南山	件数	19	14	27	29	2	10	5	13	0	1
	%	44.2	32.6	62.8	67.4	4.7	23.3	11.6	30.2	0.0	2.3
佐礼谷	件数	6	3	4	7	1	4	1	1	0	0
	%	66.7	33.3	44.4	77.8	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0
中山	件数	33	19	30	43	2	28	13	18	0	1
	%	50.8	29.2	46.2	66.2	3.1	43.1	20.0	27.7	0.0	1.5
由並	件数	30	19	21	38	1	18	6	24	0	0
	%	55.6	35.2	38.9	70.4	1.9	33.3	11.1	44.4	0.0	0.0
翠	件数	6	6	12	16	0	4	10	7	0	0
	%	28.6	28.6	57.1	76.2	0.0	19.0	47.6	33.3	0.0	0.0
下灘	件数	17	10	19	25	3	6	5	11	1	0
	%	51.5	30.3	57.6	75.8	9.1	18.2	15.2	33.3	3.0	0.0

問 12：あなたは地域を良くしていくために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号に○印を付けてください。

今後取り組んでみたい活動としては、「まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」が最も多く、次いで、「高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動」、「町内会、老人クラブ、女性会など地区の自治活動」となっている。

	件数	%
町内会、老人クラブ、女性会など地区の自治活動	267	32.8
放課後児童クラブなど子育て支援に関する活動	165	20.2
PTA、愛護班など子どもの健全育成に関する活動	112	13.7
高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	336	41.2
消防団、交通指導員など防災・防犯・交通安全に関わる活動	171	21.0
まちの美化・清掃活動・緑化などの活動	352	43.2
文化・芸術・スポーツに関わる活動	250	30.7
市が行う計画づくりや意見交換の場	149	18.3
その他	9	1.1
特になし	89	10.9
無回答	36	4.4



【年齢別クロス】

全世代共通で「まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」についての意向が高く、20代、40代、50代は、「文化・芸術・スポーツに関わる活動」に対して関心が高いことがわかる。

また、60代以上は「高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動」、70代は「町内会、老人クラブ、女性会など地区の自治活動」に対しての関心が高い。子育て世代である、30代は「放課後児童クラブなど子育て支援に関する活動」となっている。

		地区の自治活動 町内会、老人クラブ、女性会など	放課後児童クラブなど子育て支援に関する活動	PTA、愛護班など子どもの健全育成に関する活動	高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	防災・防犯・交通安全に関わる活動	消防団、交通指導員など	まちの美化・清掃活動・緑化などの活動	文化・芸術・スポーツに関わる活動	市が行う計画づくりや意見交換の場	その他	特になし
20 歳台	件数	10	22	13	15	12	28	32	10	0	7	
	%	16.4	36.1	21.3	24.6	19.7	45.9	52.5	16.4	0.0	11.5	
30 歳台	件数	17	42	34	23	22	38	32	16	0	10	
	%	17.5	43.3	35.1	23.7	22.7	39.2	33.0	16.5	0.0	10.3	
40 歳台	件数	14	24	23	21	34	40	34	15	2	11	
	%	14.1	24.2	23.2	21.2	34.3	40.4	34.3	15.2	2.0	11.1	
50 歳台	件数	47	25	11	55	38	60	62	24	1	12	
	%	35.9	19.1	8.4	42.0	29.0	45.8	47.3	18.3	0.8	9.2	
60 歳台	件数	71	29	13	79	31	80	49	38	2	21	
	%	40.6	16.6	7.4	45.1	17.7	45.7	28.0	21.7	1.1	12.0	
70 歳以上	件数	108	23	18	142	34	105	41	45	4	28	
	%	43.7	9.3	7.3	57.5	13.8	42.5	16.6	18.2	1.6	11.3	

【小学校区別クロス】

全校区共通して、「まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」についての意向が高く、次いで、「文化芸術スポーツに関わる活動」が高くなっている。また、「郡中」、「北山」、「下灘」校区においては、「消防団、交通指導員など防災・防犯・交通安全に関わる活動」に対する関心が高い。

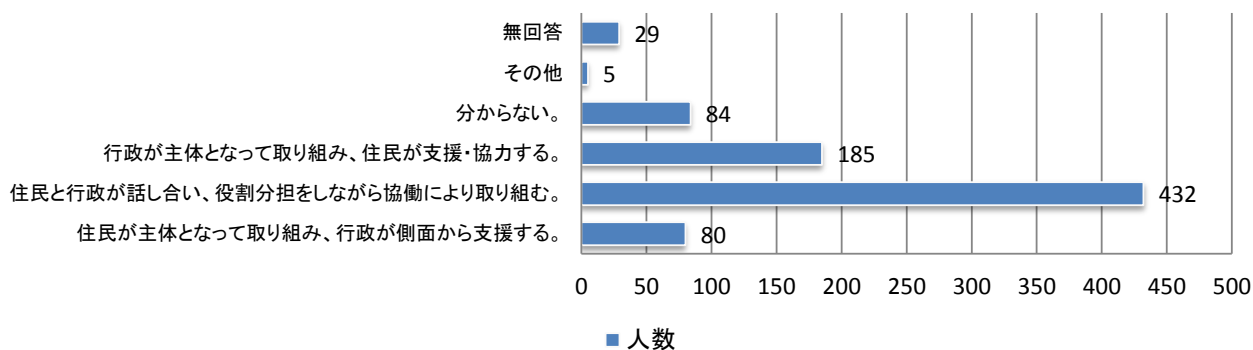
「佐礼谷」、「中山」校区では、「放課後児童クラブなど子育て支援に関する活動」に対する関心が高い

		地区の自治活動 町内会、老人クラブ、女性会など	放課後児童クラブなど子育て支援に関する活動	PTA、愛護班など子どもの健全育成に関する活動	高齢者・障がい者の生活支援等の福祉に関する活動	防災・防犯・交通安全に関わる活動	消防団、交通指導員など	まちの美化・清掃活動・緑化などの活動	文化・芸術・スポーツに関わる活動	市が行う計画づくりや意見交換の場	その他	特になし
伊予	件数	10	22	13	15	12	28	32	10	0	7	
	%	16.4	36.1	21.3	24.6	19.7	45.9	52.5	16.4	0.0	11.5	
郡中	件数	17	42	34	23	22	38	32	16	0	10	
	%	17.5	43.3	35.1	23.7	22.7	39.2	33.0	16.5	0.0	10.3	
北山	件数	14	24	23	21	34	40	34	15	2	11	
	%	14.1	24.2	23.2	21.2	34.3	40.4	34.3	15.2	2.0	11.1	
南山	件数	47	25	11	55	38	60	62	24	1	12	
	%	35.9	19.1	8.4	42.0	29.0	45.8	47.3	18.3	0.8	9.2	
佐礼谷	件数	71	29	13	79	31	80	49	38	2	21	
	%	40.6	16.6	7.4	45.1	17.7	45.7	28.0	21.7	1.1	12.0	
中山	件数	108	23	18	142	34	105	41	45	4	28	
	%	43.7	9.3	7.3	57.5	13.8	42.5	16.6	18.2	1.6	11.3	
由並	件数	10	22	13	15	12	28	32	10	0	7	
	%	16.4	36.1	21.3	24.6	19.7	45.9	52.5	16.4	0.0	11.5	
翠	件数	17	42	34	23	22	38	32	16	0	10	
	%	17.5	43.3	35.1	23.7	22.7	39.2	33.0	16.5	0.0	10.3	
下灘	件数	14	24	23	21	34	40	34	15	2	11	
	%	14.1	24.2	23.2	21.2	34.3	40.4	34.3	15.2	2.0	11.1	

問 13：あなたがお住まいの地域をより良くするためにはどのような方法で「地域運営・地域振興」を進めればよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○印を付けてください。

「地域運営・地域振興」については、「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働により取り組む。」の回答が最も多い。互いに役割を分担し、協働して取り組むことに対して関心や意識の高さがわかる。

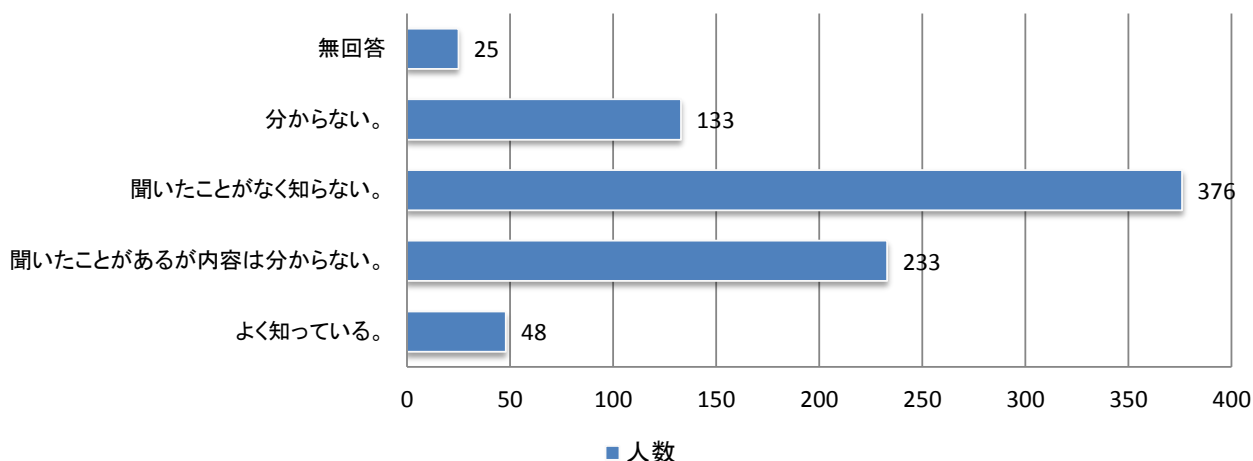
	件数	%
住民が主体となって取り組み、行政が側面から支援する。	80	9.8
住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働により取り組む。	432	53.0
行政が主体となって取り組み、住民が支援・協力する。	185	22.7
分からない。	84	10.3
その他	5	0.6
無回答	29	3.6
合計	815	100.0



問 14：伊予市では、活力ある地域づくりを進める手法として、住民が主体となって取り組む「住民自治」を進めています。あなたはこの取り組みをご存知ですか。《1つに○印》

「住民自治」に関する取り組みについて、「聞いたことがなく知らない(46.1%)」と回答した人が最も多い。次いで、「聞いたことがあるが内容は分からない(28.6%)」となっており、内容について知らない人は回答者の半数近くいることがわかる。

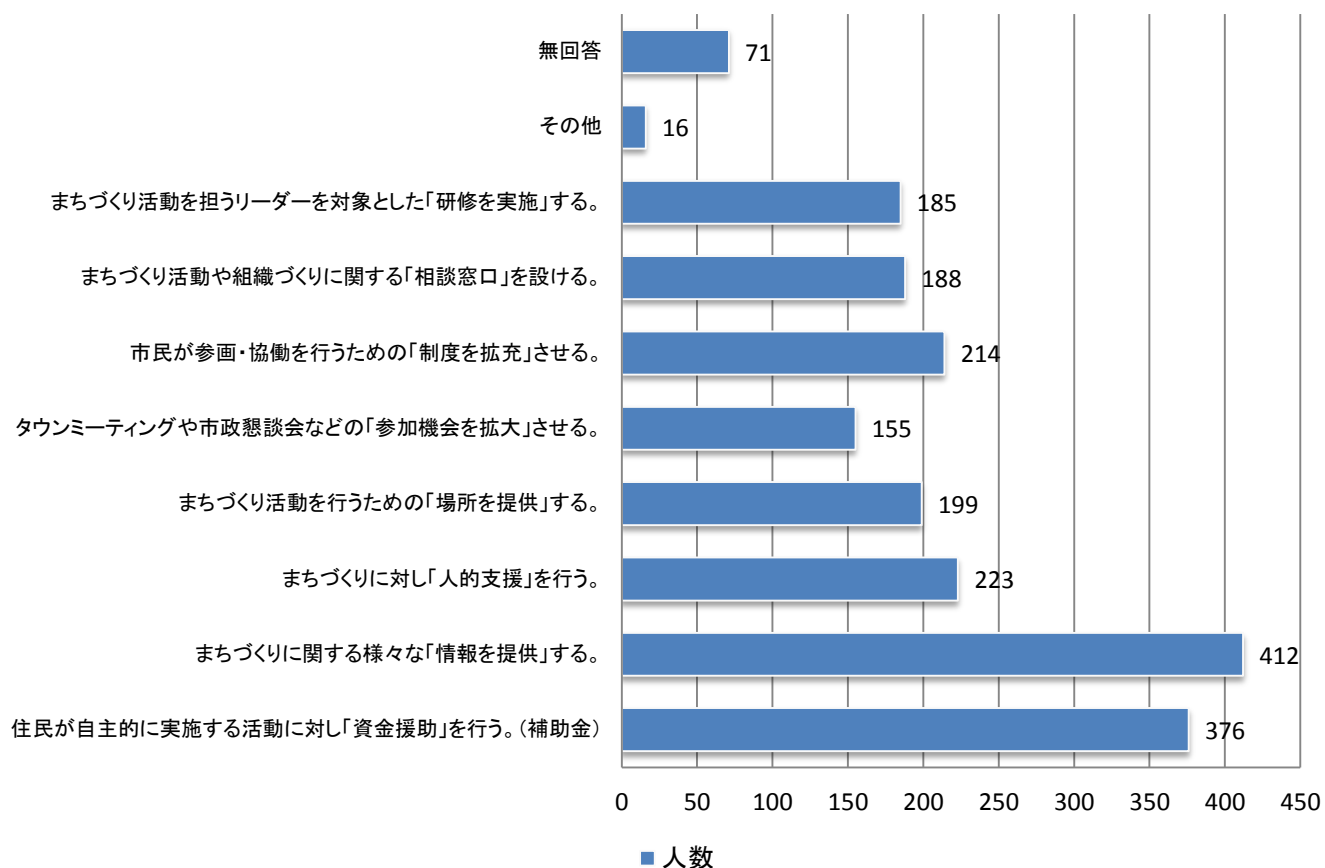
	件数	%
よく知っている。	48	5.9
聞いたことがあるが内容は分からない。	233	28.6
聞いたことがなく知らない。	376	46.1
分からない。	133	16.3
無回答	25	3.1
合計	815	100.0



問 15 : 住民が主体となって取り組む「住民自治」を進めるためには、市はどのような活動支援を行えばよいと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号に○印を付けてください。

「住民自治」を進めるために市が実施すべき活動支援は、「まちづくりに関する様々な「情報を提供」する。(50.6%)」と最も高く、次いで「住民が自主的に実施する活動に対し「資金援助」を行う。(補助金)(46.1%)」、「まちづくりに対し「人的支援」を行う。(27.4%)」となっている。

	件数	%
住民が自主的に実施する活動に対し「資金援助」を行う。(補助金)	376	46.1
まちづくりに関する様々な「情報を提供」する。	412	50.6
まちづくりに対し「人的支援」を行う。	223	27.4
まちづくり活動を行うための「場所を提供」する。	199	24.4
タウンミーティングや市政懇談会などの「参加機会を拡大」させる。	155	19.0
市民が参画・協働を行うための「制度を拡充」させる。	214	26.3
まちづくり活動や組織づくりに関する「相談窓口」を設ける。	188	23.1
まちづくり活動を担うリーダーを対象とした「研修を実施」する。	185	22.7
その他	16	2.0
無回答	71	8.7

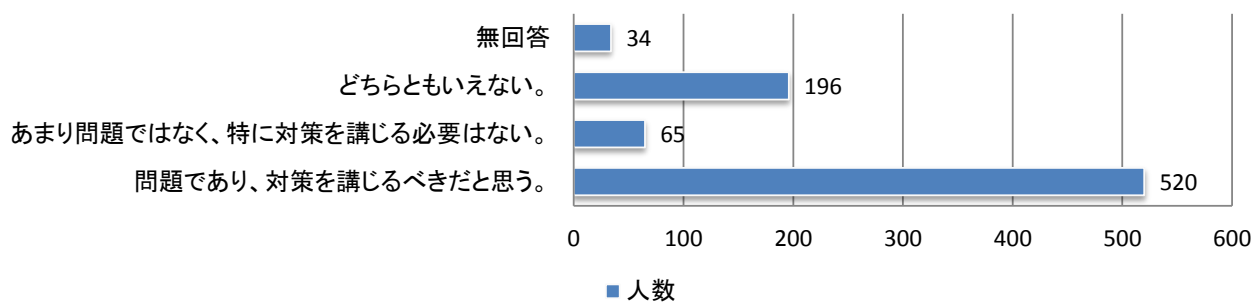


伊予市の人口減少対策についておてずねします。

問 16：あなたは伊予市の人口減少をどのように感じていますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○印を付けてください。

人口減少については、「問題であり、対策を講じるべきだと思う。(63.8%)」との回答が最も多い。

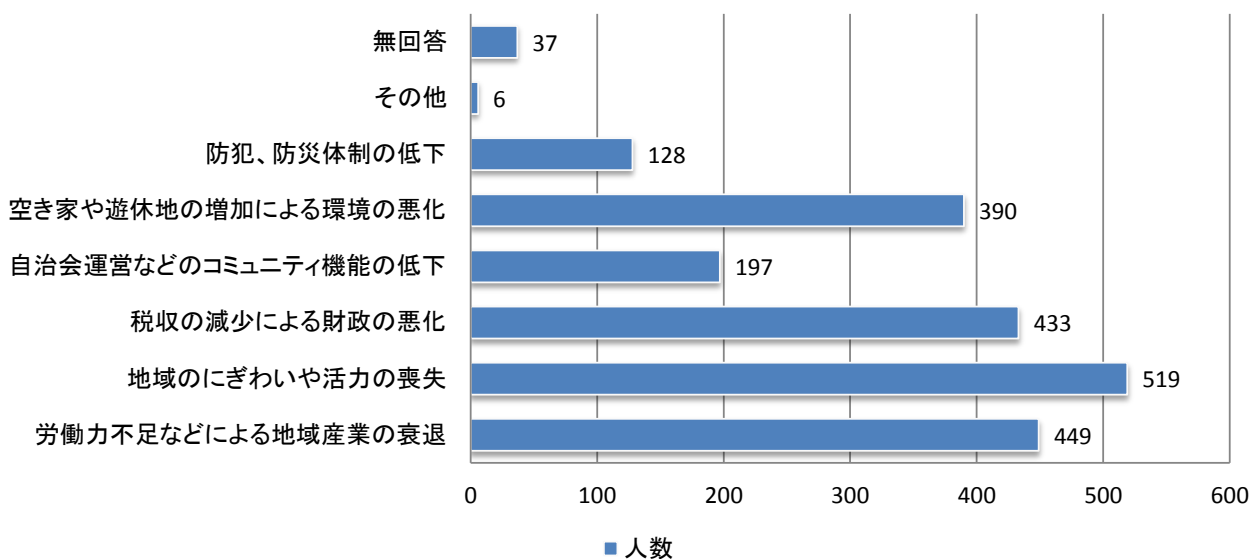
	件数	%
問題であり、対策を講じるべきだと思う。	520	63.8
あまり問題ではなく、特に対策を講じる必要はない。	65	8.0
どちらともいえない。	196	24.0
無回答	34	4.2
合計	815	100.0



問 17：あなたは人口減少が地域にどのような影響を与えられると思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで
 選び番号に○印を付けてください。

人口減少による影響については、「地域のにぎわいや活力の喪失(63.7%)」との回答が最も多く、次いで「労働力不足などによる地域産業の衰退(55.1%)」、「税収の減少による財政の悪化(53.1%)」となっている。

	件数	%
労働力不足などによる地域産業の衰退	449	55.1
地域のにぎわいや活力の喪失	519	63.7
税収の減少による財政の悪化	433	53.1
自治会運営などのコミュニティ機能の低下	197	24.2
空き家や遊休地の増加による環境の悪化	390	47.9
防犯、防災体制の低下	128	15.7
その他	6	0.7
無回答	37	4.5



【年齢別クロス】

人口減少による影響については、全世代共通で、「地域のにぎわいや活力の喪失」が最も多い。次いで、30代～50代は、「税収の減少による財政の悪化」の回答が多い。また、20代と60代以上は、「労働力不足などによる地域産業の衰退」について回答が多い。

		労働力不足などによる地域産業の衰退	地域のにぎわいや活力の喪失	税収の減少による財政の悪化	自治会運営などのコミュニティ機能の低下	空き家や遊休地の増加による環境の悪化	防犯、防災体制の低下	その他
20 歳台	件数	42	47	35	15	22	7	0
	%	68.9	77.0	57.4	24.6	36.1	11.5	0.0
30 歳台	件数	45	61	55	19	41	16	1
	%	46.4	62.9	56.7	19.6	42.3	16.5	1.0
40 歳台	件数	47	69	61	29	37	19	0
	%	47.5	69.7	61.6	29.3	37.4	19.2	0.0
50 歳台	件数	69	94	76	35	66	15	2
	%	52.7	71.8	58.0	26.7	50.4	11.5	1.5
60 歳台	件数	98	115	92	43	95	33	1
	%	56.0	65.7	52.6	24.6	54.3	18.9	0.6
70 歳以上	件数	148	132	114	55	128	38	1
	%	59.9	53.4	46.2	22.3	51.8	15.4	0.4

【小学校区別クロス】

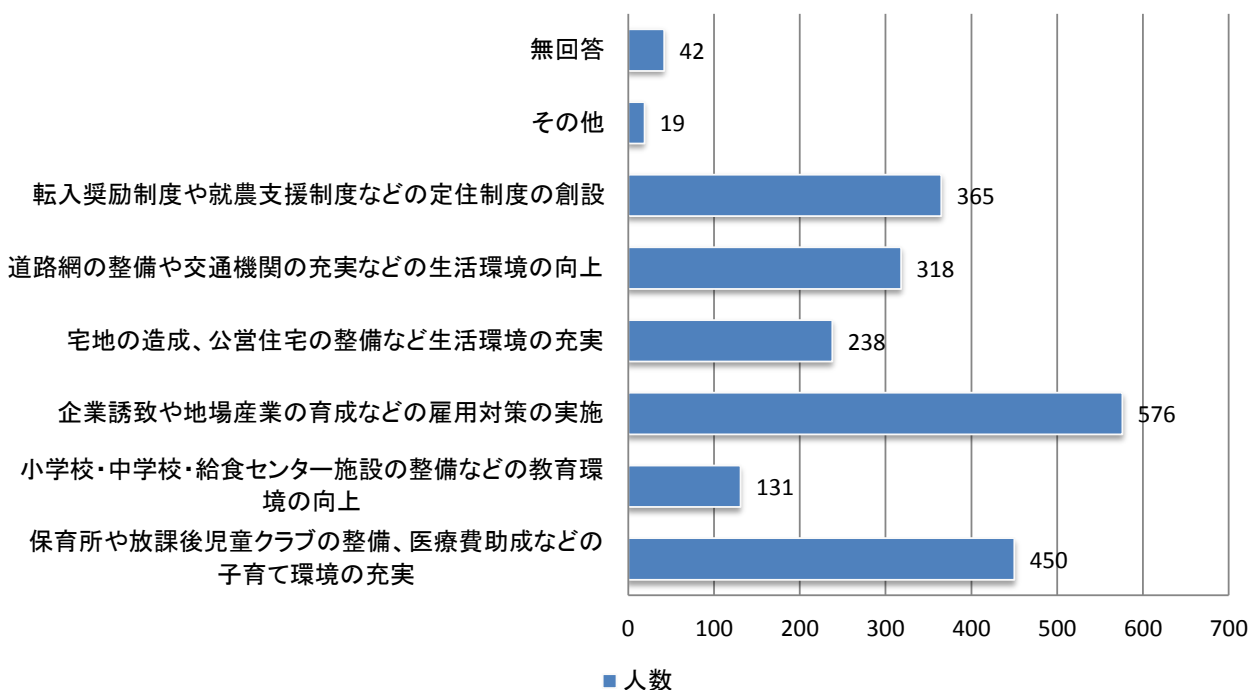
「地域のにぎわいや活力の喪失」と「労働力不足などによる地域産業の衰退」に関する回答が最も多い。次いで、「郡中」、「北山」、「佐礼谷」校区では、「税収の減少による財政の悪化」の回答が多く、「伊予」、「由並」、「翠」校区では、「空き家や遊休地の増加による環境の悪化」の回答が多い。

		労働力不足などによる地域産業の衰退	地域のにぎわいや活力の喪失	税収の減少による財政の悪化	自治会運営などのコミュニティ機能の低下	空き家や遊休地の増加による環境の悪化	防犯、防災体制の低下	その他
伊予	件数	63	83	70	31	71	23	0
	%	46.7	61.5	51.9	23.0	52.6	17.0	0.0
郡中	件数	177	221	186	72	148	51	4
	%	54.8	68.4	57.6	22.3	45.8	15.8	1.2
北山	件数	50	68	62	32	43	19	0
	%	48.1	65.4	59.6	30.8	41.3	18.3	0.0
南山	件数	23	22	18	14	16	11	1
	%	53.5	51.2	41.9	32.6	37.2	25.6	2.3
佐礼谷	件数	8	4	6	2	5	1	0
	%	88.9	44.4	66.7	22.2	55.6	11.1	0.0
中山	件数	44	39	29	13	28	11	0
	%	67.7	60.0	44.6	20.0	43.1	16.9	0.0
由並	件数	38	34	30	10	36	3	0
	%	70.4	63.0	55.6	18.5	66.7	5.6	0.0
翠	件数	15	11	10	8	13	2	0
	%	71.4	52.4	47.6	38.1	61.9	9.5	0.0
下灘	件数	21	21	17	8	19	3	0
	%	63.6	63.6	51.5	24.2	57.6	9.1	0.0

問 18 : あなたは人口減少対策としてどのような取り組みが有効であると思われますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号に○印を付けてください。

有効的な人口減少対策については、「企業誘致や地場産業の育成などの雇用対策の実施(70.7%)」の回答が最も多く、次いで「保育所や放課後児童クラブの整備、医療費助成などの子育て環境の充実(55.2%)」、「転入奨励制度や就農支援制度などの定住制度の創設(44.8%)」となっている。

	件数	%
保育所や放課後児童クラブの整備、医療費助成などの子育て環境の充実	450	55.2
小学校・中学校・給食センター施設の整備などの教育環境の向上	131	16.1
企業誘致や地場産業の育成などの雇用対策の実施	576	70.7
宅地の造成、公営住宅の整備など生活環境の充実	238	29.2
道路網の整備や交通機関の充実などの生活環境の向上	318	39.0
転入奨励制度や就農支援制度などの定住制度の創設	365	44.8
その他	19	2.3
無回答	42	5.2



【小学校区別クロス】

全校区共通して、「企業誘致や地場産業の育成などの雇用対策の実施」が最も多い。また、伊予、郡中、北山、由並、下灘校区では、「保育所や放課後児童クラブの整備、医療費助成などの子育て環境の充実」、南山、佐礼谷、中山、翠校区において、「転入奨励制度や就農支援制度などの定住制度の創設」について回答が多い。

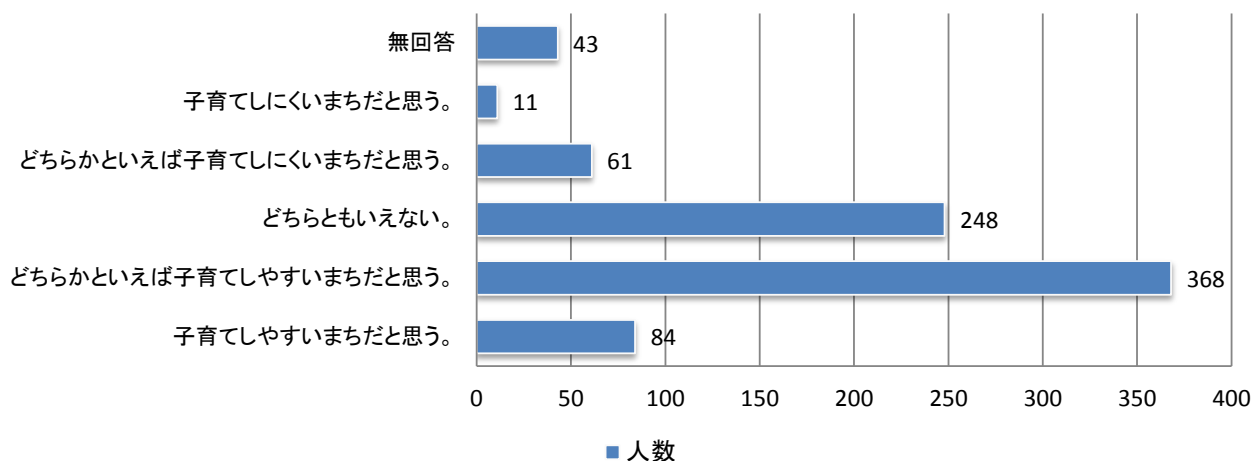
		保育所や放課後児童クラブの整備、 医療費助成などの子育て環境の充実	小学校・中学校・給食センター施設 の整備などの教育環境の向上	企業誘致や地場産業の育成などの 雇用対策の実施	宅地の造成、公営住宅の整備など生 活環境の充実	道路網の整備や交通機関の充実な どの生活環境の向上	転入奨励制度や就農支援制度など の定住制度の創設	その他
伊予	件数	69	22	88	41	63	55	3
	%	51.1	16.3	65.2	30.4	46.7	40.7	2.2
郡中	件数	196	56	244	101	105	136	5
	%	60.7	17.3	75.5	31.3	32.5	42.1	1.6
北山	件数	62	17	74	38	37	47	2
	%	59.6	16.3	71.2	36.5	35.6	45.2	1.9
南山	件数	20	4	28	15	17	23	2
	%	46.5	9.3	65.1	34.9	39.5	53.5	4.7
佐礼谷	件数	5	1	7	2	4	6	0
	%	55.6	11.1	77.8	22.2	44.4	66.7	0.0
中山	件数	22	10	48	15	29	36	4
	%	33.8	15.4	73.8	23.1	44.6	55.4	6.2
由並	件数	33	8	42	10	30	25	1
	%	61.1	14.8	77.8	18.5	55.6	46.3	1.9
翠	件数	11	3	14	6	12	12	0
	%	52.4	14.3	66.7	28.6	57.1	57.1	0.0
下灘	件数	18	5	22	5	12	16	1
	%	54.5	15.2	66.7	15.2	36.4	48.5	3.0

伊予市の子育て支援策についておたずねします。

問 19 : あなたにとって伊予市は子育てしやすいまちだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○印を付けてください。

子育てしやすいまちについては、「どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う。」との回答が最も多い。

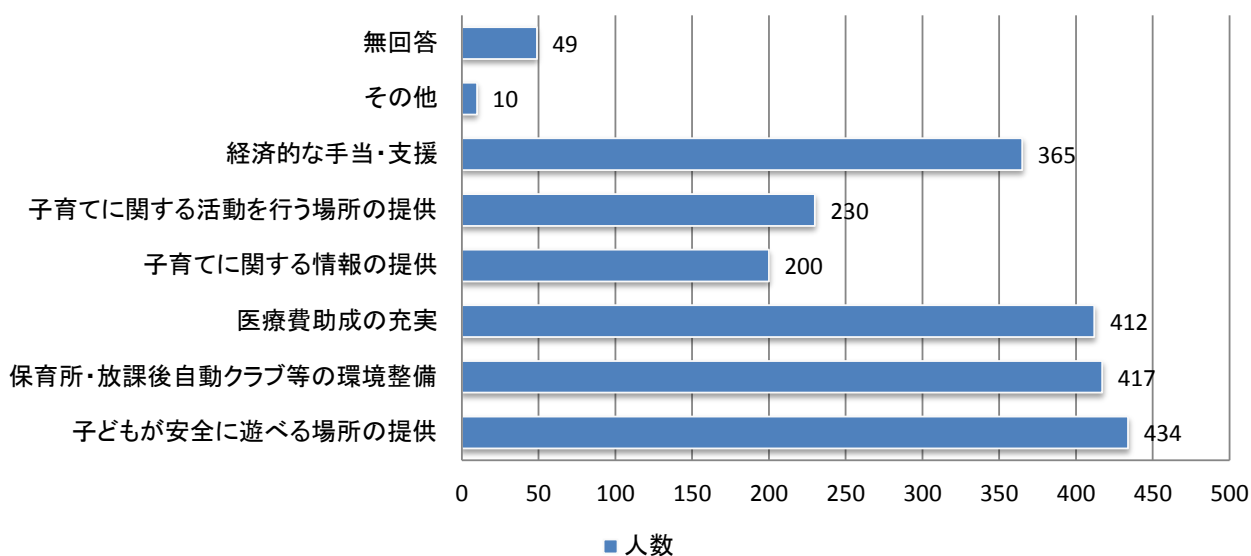
	件数	%
子育てしやすいまちだと思う。	84	10.3
どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う。	368	45.2
どちらともいえない。	248	30.4
どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う。	61	7.5
子育てしにくいまちだと思う。	11	1.3
無回答	43	5.3
合計	815	100.0



問 20 : あなたは行政が行うべき子育て支援はどのようなものと思われますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号に○印を付けてください。

子育て支援については、「子どもが安全に遊べる場所の提供 (53.3%)」の回答が最も多く、次いで「保育所・放課後児童クラブ等の環境整備 (51.2%)」、「医療費助成の充実 (50.6%)」となっている。

	件数	%
子どもが安全に遊べる場所の提供	434	53.3
保育所・放課後児童クラブ等の環境整備	417	51.2
医療費助成の充実	412	50.6
子育てに関する情報の提供	200	24.5
子育てに関する活動を行う場所の提供	230	28.2
経済的な手当・支援	365	44.8
その他	10	1.2
無回答	49	6.0



【年齢別クロス】

全世代共通して、「子どもが安全に遊べる場所の提供」の支援が必要だと考えられている。また、50代～70代以上は、「保育所・放課後児童クラブ等の環境整備」が必要と考えられており、30代～50代は、「医療費助成の充実」、20代は、「経済的な手当・支援」に関する支援が必要であるとの回答があった。

		子どもが安全に遊べる場所の提供	保育所・放課後児童クラブ等の環境整備	医療費助成の充実	子育てに関する情報の提供	子育てに関する活動を行う場所の提供	経済的な手当・支援	その他
20歳台	件数	34	31	26	14	24	37	0
	%	55.7	50.8	42.6	23.0	39.3	60.7	0.0
30歳台	件数	56	50	64	24	14	50	2
	%	57.7	51.5	66.0	24.7	14.4	51.5	2.1
40歳台	件数	53	49	65	18	16	50	3
	%	53.5	49.5	65.7	18.2	16.2	50.5	3.0
50歳台	件数	71	86	79	30	34	52	2
	%	54.2	65.6	60.3	22.9	26.0	39.7	1.5
60歳台	件数	89	90	79	43	62	74	2
	%	50.9	51.4	45.1	24.6	35.4	42.3	1.1
70歳以上	件数	131	110	97	71	80	102	1
	%	53.0	44.5	39.3	28.7	32.4	41.3	0.4

【小学校区別クロス】

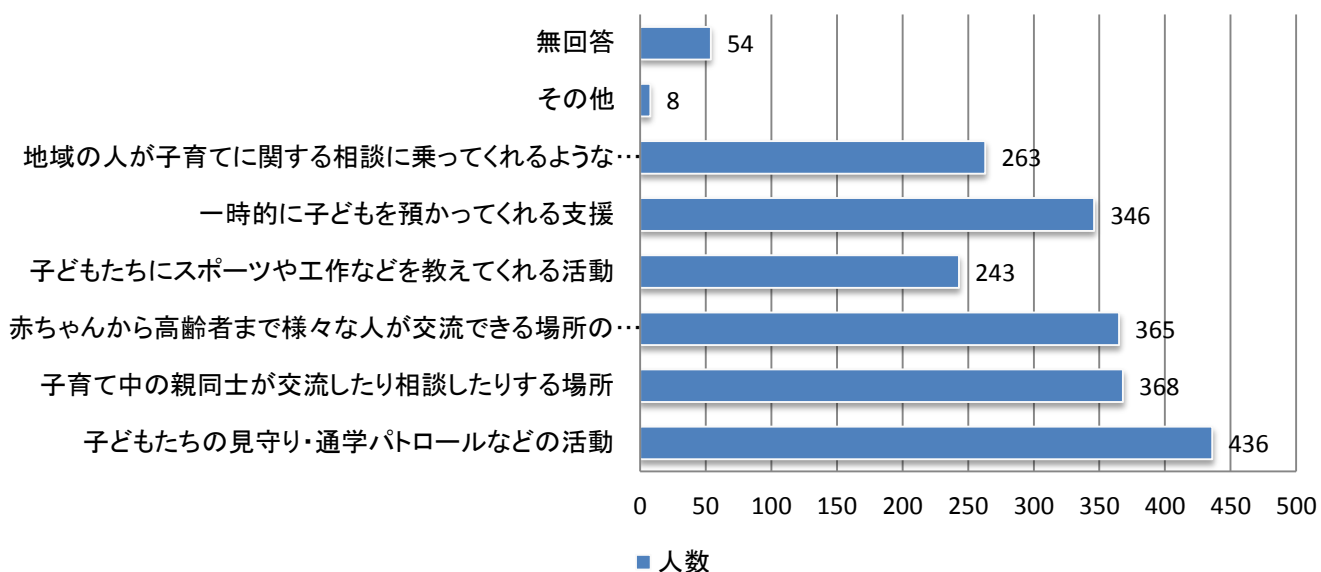
全校区において、「医療費助成の充実」の支援が必要であるといった意向がある。また、伊予、郡中、北山、翠、下灘校区において、「保育所・放課後児童クラブ等の環境整備」、佐礼谷、中山、由並、下灘校区では、「経済的な手当・支援」が必要であるといった回答があった。

		子どもが安全に遊べる場所の提供	保育所・放課後児童クラブ等の環境整備	医療費助成の充実	子育てに関する情報の提供	子育てに関する活動を行う場所の提供	経済的な手当・支援	その他
伊予	件数	63	79	74	21	29	67	2
	%	46.7	58.5	54.8	15.6	21.5	49.6	1.5
郡中	件数	196	175	159	80	95	132	4
	%	60.7	54.2	49.2	24.8	29.4	40.9	1.2
北山	件数	52	53	57	32	38	48	0
	%	50.0	51.0	54.8	30.8	36.5	46.2	0.0
南山	件数	25	19	23	11	10	15	2
	%	58.1	44.2	53.5	25.6	23.3	34.9	4.7
佐礼谷	件数	3	3	4	1	2	6	0
	%	33.3	33.3	44.4	11.1	22.2	66.7	0.0
中山	件数	30	25	31	20	20	34	1
	%	46.2	38.5	47.7	30.8	30.8	52.3	1.5
由並	件数	30	26	33	11	9	31	0
	%	55.6	48.1	61.1	20.4	16.7	57.4	0.0
翠	件数	11	12	10	6	11	9	1
	%	52.4	57.1	47.6	28.6	52.4	42.9	4.8
下灘	件数	13	14	12	13	7	14	0
	%	39.4	42.4	36.4	39.4	21.2	42.4	0.0

問 21 : あなたは地域が行うべき子育て支援はどのようなものと思われますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び番号に○印を付けてください。

地域が行うべき子育て支援については、「子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動(53.5%)」との回答がもっとも多く、次いで「子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所(45.2%)」、「赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供(44.8%)」となっている。

	件数	%
子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動	436	53.5
子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所	368	45.2
赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供	365	44.8
子どもたちにスポーツや工作などを教えてくれる活動	243	29.8
一時的に子どもを預かってくれる支援	346	42.5
地域の人の子育てに関する相談に乗ってくれるような活動	263	32.3
その他	8	1.0
無回答	54	6.6



【年齢別クロス】

全世代共通して、「子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動」を行うべきとの回答があった。また、20代、50代、60代は、「子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所」が必要であると回答しており、30代、40代は、「一時的に子どもを預かってくれる支援」が必要、60歳以上は、「赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供」が必要と回答している。

		子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動	子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所	赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供	子どもたちにスポーツや工作などを教えてくれる活動	一時的に子どもを預かってくれる支援	地域の人が子育てに関する相談に乗ってくれるような活動	その他
20歳台	件数	40	32	16	28	26	16	0
	%	65.6	52.5	26.2	45.9	42.6	26.2	0.0
30歳台	件数	62	40	31	42	50	17	1
	%	63.9	41.2	32.0	43.3	51.5	17.5	1.0
40歳台	件数	54	37	38	35	44	28	1
	%	54.5	37.4	38.4	35.4	44.4	28.3	1.0
50歳台	件数	70	68	65	37	64	43	1
	%	53.4	51.9	49.6	28.2	48.9	32.8	0.8
60歳台	件数	86	86	91	43	76	64	2
	%	49.1	49.1	52.0	24.6	43.4	36.6	1.1
70歳以上	件数	123	104	124	57	86	95	3
	%	49.8	42.1	50.2	23.1	34.8	38.5	1.2

【小学校区別クロス】

全校区共通して、「子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動」や「子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所」が必要であるといった回答が多い。また、北山、佐礼谷、中山、翠校区においては、「赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供」が必要であり、伊予、佐礼谷、由並校区では、「一時的に子どもを預かってくれる支援」が必要との回答があった。

		子どもたちの見守り・通学パトロールなどの活動	子育て中の親同士が交流したり相談したりする場所	赤ちゃんから高齢者まで様々な人が交流できる場所の提供	子どもたちにスポーツや工作などを教えてくれる活動	一時的に子どもを預かってくれる支援	地域の人が子育てに関する相談に乗ってくれるような活動	その他
伊予	件数	75	54	53	36	60	42	1
	%	55.6	40.0	39.3	26.7	44.4	31.1	0.7
郡中	件数	173	138	148	114	133	105	3
	%	53.6	42.7	45.8	35.3	41.2	32.5	0.9
北山	件数	56	54	56	31	48	31	0
	%	53.8	51.9	53.8	29.8	46.2	29.8	0.0
南山	件数	24	20	16	12	18	18	1
	%	55.8	46.5	37.2	27.9	41.9	41.9	2.3
佐礼谷	件数	3	6	4	1	4	3	0
	%	33.3	66.7	44.4	11.1	44.4	33.3	0.0
中山	件数	29	33	35	10	29	22	0
	%	44.6	50.8	53.8	15.4	44.6	33.8	0.0
由並	件数	33	25	24	20	26	16	1
	%	61.1	46.3	44.4	37.0	48.1	29.6	1.9
翠	件数	11	11	15	4	10	8	2
	%	52.4	52.4	71.4	19.0	47.6	38.1	9.5
下灘	件数	18	15	9	8	12	13	0
	%	54.5	45.5	27.3	24.2	36.4	39.4	0.0